

平成23年第8回教育委員会定例会日程

日 時 平成23年6月28日(火)

午後1時30分

場 所 北栄町役場大栄庁舎 第4会議室

1 開 会

2 会議録署名委員の指名

3 行政報告

教育長 資料1

教育総務課長

生涯学習課長

4 議 事

議案第54号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について

5 協議事項

・音田教育振興基金 高等学校入学準備金給付事業(案)について

. 資料2

・教育委員先進事例視察研修について 資料3

6 報 告

・平成23年6月北栄町議会定例会について 資料4

・議会陳情採択案件について 資料5

・北条小学校みどり西子ども会通学路の変更について 資料6

・教育シンポジウムについて 資料7

・各小中学校授業研究会について 資料8

・キャリア教育について 資料9

・鳥取県市町村教育委員会研究協議会について

7月 8日(金) セントパレス倉吉

理事会 12:00 研究大会等 14:00

配車: 11:35(吉田委員長)

13:30(齋尾委員)⇒13:40(河本委員)⇒現地

7 その他 (追加) 平成23年度全国学力調査の取り扱いについて

・第24回すいか・ながいも健康マラソン大会

7月 3日(日) 開会式 9:00

・北栄町人権教育講演会について(講師:江嶋修作さん)

7月21日(木) 19:30 大栄農村環境改善センター

・第56回東伯郡民体育大会について

7月24日(日) 主会場 三朝町

・平成23年度教育懇話会について

7月29日(金) 16:00 三朝町:溪泉閣

・次回教育委員会 7月~~26~~²⁷日(火) 午後1時30分から

8 閉 会

6 月 行 政 報 告

(6月28日 教育委員会)

＝教育総務課＝

1 北条中学校・大栄中学校の臨時休校について

5月30日、北条中学校・大栄中学校は台風の影響による洪水警報が発令されていたため、臨時休校いたしました。なお、北条小学校・大栄小学校は運動会の振替で、休校日でした。

2 (財)竹歳敏夫奨学育英会について

5月30日、(財)竹歳敏夫奨学育英会理事・評議員合同会を開催しました。会では、平成22年度の事業報告及び収支決算について審議され、承認されました。

また、公益法人制度改革に伴う移行の方向性については、松本昭夫理事長がお孫さんである竹歳誠さんと面会し、今後の意向を確認されたところ、公益法人として存続させてほしいということであったため、会としてもその意向を尊重することとし、今後は公益法人として存続させていくため、奨学金の給付方法を見直していくことなどが協議されました。

3 同日公開参観日の実施について

6月3日、保・幼・小・中の同日公開参観日を実施し、1,072人(昨年6月980人)の方が参観されました。

| | | | | | |
|-------|-----|------|-------|-----|--------|
| 東保育所 | 参観者 | 22人 | 中央保育所 | 参観者 | 49人 |
| 北条みどり | 〃 | 40人 | 大誠保育所 | 〃 | 57人 |
| 栄保育所 | 〃 | 21人 | 由良保育所 | 〃 | 42人 |
| 大谷保育所 | 〃 | 16人 | 北条幼稚園 | 〃 | 42人 |
| 北条小学校 | 〃 | 357人 | 大栄小学校 | 〃 | 223人 |
| 北条中学校 | 〃 | 129人 | 大栄中学校 | 〃 | 74人 |
| | | | | 計 | 1,072人 |

4 教育シンポジウムについて

6月13日、大栄農村環境改善センターにおいて、教育シンポジウムを開催しました。はじめに、日本海テレビアナウンサーの岡崎菜都子さんが教科書の朗読をされ、「目で読み、声を出し、声を耳で聞く」音読の素晴らしさや日本語の響きの美しさなどを参加者の皆さんに感じて頂きました。

また、シンポジウムでは、コーディネーターの県教委小中学校課義務教育主査の牧野厚志さんの進行のもと、鳥取市立病院小児科診療部部長 長石純一先生が「よく食べてよく動いてよく寝る」ために早く起こすことを、鳥取大学名誉教授 油野利博先生が「多様な動きの経験」のために大人がやって見せること、鳥取大学副学長 矢部敏昭先生は、「新しいことを学びながら、わくわくドキドキする感性を育てる」ために、こつこつと努力する姿をほめることなどを提言されました。参加者は110人でした。

5 計画訪問の実施について

次のとおり、教育委員会による前期の計画訪問を県教委中部教育局の協力を得て実施し、昨年度の反省を踏まえた本年度の計画や取り組みの説明を受けるとともに、教職員との協議をしました。

- ・5月31日・北条中学校（午前）
- ・6月22日・北条幼稚園（午前）
- ・6月23日・大栄小学校（午前）・北条小学校（午後）
- ・6月28日・大栄中学校（午前）

6 準要保護者の面談について

6月7日から14日までの間、準要保護の申請に係る個人面談を実施しました。

申請者（保護者）48人（新規11人・継続37人）

7 学校行事について

・大栄中学校2年生による「ワクワク大栄」職業体験学習が実施されました。

6月20日～24日 57名 ・協力事業所 23事業所

予定 北条中学校2年生「ワクワク北条」7月5日～8日

・6月25日 大栄小学校の中庭と校庭の一部に、(株)チュウブの指導のもと、児童・保護者・教職員で鳥取県オリジナル日本芝の「グリーンバードJ」を植え付けしました。これは、県事業の校庭芝生化モデル事業を利用して行ったものです。

・参加者→約50人 ・面積→約2,000㎡

6 月 行 政 報 告

＝生涯学習課＝

1 第24回すいか・ながいも健康マラソン大会の参加申込者数について

5月18日をもって、7月3日開催予定の第24回すいか・ながいも健康マラソン大会の参加申込を締め切ったところ、申込者数は4,350人でした。

2 「人権擁護委員の日」街頭啓発活動の実施について

6月1日、東宝ストア由良店と、Aコープ下北条店街頭において人権擁護委員6名が「人権擁護委員の日」のPR活動を行いました。

買い物に訪れた方々に啓発用パンフレットとポケットティッシュを配布し人権擁護委員の役割と、人権相談の実施について啓発しました。

3 平成23年度第1回社会教育委員会・公民館運営審議会について

6月2日、午前10時より大栄庁舎第2会議室において、第1回社会教育委員会兼公民館運営審議会を開催しました。平成23年度の社会教育事業の課題と目標の説明の後、委員の皆さんの意見を頂きました。出席委員は全員出席の12名でした。

4 中部地区少年少女のつどいの開催について

6月5日、琴浦町一向平キャンプ場を会場に第33回中部地区少年少女のつどいが開催され、北栄町からは17人（中部全体では70人）が参加し、魚つかみ、大山滝までのハイキングなどを行い交流を深めました。

5 厚生労働省の会計検査について

6月8日、午後2時より大栄庁舎第2会議室で厚生労働省第1課による平成17年度から平成21年度の「隣保館運営費」について受験しました。

検査においては、主に勤務形態、事業内容等の整合性の調査が行われましたが、指摘もなく終了しました。

6 滋賀県湖南市との友好交流協定に伴う、図書館交流コーナーの設置について

6月14日、湖南市との友好交流事業の一つで、湖南市に係る図書や資料、工芸品などを展示した、「湖南市図書交流コーナー」の開設式が行われました。今後随時両市町の紹介資料を拡充していくものです。

7 第1回北栄町人権同和教育地区推進会議について

6月16日、午後7時30分より大栄庁舎第2会議室において、第1回人権同和教育地区推進会議を開催しました。平成23年度の人権同和教育小地域懇談会開催要項の説明と、研修用ビデオ2本を視聴しました。今後、各自治会で学習内容等決定し、9月から11月末までの間で実施されます。

8 北栄町隣保館運営審議会兼北栄町児童館運営委員会について

6月20日、午後7時30分より北条文化会館において、第1回北栄町隣保館運営審議会兼北栄町児童館運営委員会が開催され、平成22年度事業報告、平成23年度事業計画並びに予算につき協議されました。協議を前に、役員選出が行われ、次の方が選出されました。役員全員出席で15名の出席でした。

- ・隣保館運営審議会兼児童館運営委員会会長 山信 幸朝
- ・ 〃 〃 〃 副会長 津島 稔

9 北栄町すいか・ながいも健康マラソン大会実行委員会について

6月23日、午後7時30分より大栄庁舎第4会議室において、第2回北栄町すいか・ながいも健康マラソン大会実行委員会を開催しました。会では、大会の進捗状況、スケジュールなどが確認され、開会に先立ち東日本震災の黙祷と、義援金箱の設置を行う事となりました。

10 北条歴史民俗資料館企画展「光風 ～風景写真と灯りのハーモニー」について

6月3日から6月26日の会期で、北条歴史民俗資料館で企画展「光風 ～風景写真と灯りのハーモニー」を開催しました。これは、田井在住の写真愛好家の吉田俊夫さんと、由良宿2区在住の和紙ランプ作家の進木富夫さんの共同作品展で、入館者総数は477名でした。

11 鳥取県部落解放月間について

7月10日（日）から8月9日（火）までの間、鳥取県部落解放月間の期間となります。月間中は、7月21日（金）の人権教育講演会をはじめ、懸垂幕、啓発ワッペン着用の呼びかけなど差別や偏見のない明るく住みよい地域社会づくりの実現のため様々な啓発活動が展開されます。

12 工事等の発注について

次のとおり工事等を発注しました。

| 入札日 | 工事名等 | 内 容 | 指名 業者数 | 入札回数 | 予定価格 | 期間等 |
|------|-----------------------------|------------|-----------|----------|-----------|--------|
| | | | | 落札業者 | | |
| 6/8 | すいか・ながいも健康マラソン大会テント等借り上げ業務 | テント等設営撤去 | 3社 | 1回 | 2,371,950 | 6/28 |
| | | | | (有) 寿テント | 2,310,000 | 7/4 |
| 6/15 | すいか・ながいも健康マラソン大会プログラム印刷製本業務 | プログラム印刷製本 | 3社 | 1回 | 747,600 | 7/2 納品 |
| | | | | 山本印刷(株) | 699,300 | |
| 6/16 | 北条民芸実習館修繕工事 | 外壁・内壁カベ紙修繕 | 4社 | 1回 | 3,907,000 | 6/20 |
| | | | | 石賀建設(株) | 3,801,000 | 9/30 |

議案第54号

北栄町要保護及び準要保護児童生徒の認定について

次の者を要保護・準要保護児童生徒に認定したいので北栄町要保護及び準要保護児童生徒に対する就学援助費支給に関する規則第5条の規定により委員会の承認を求める。

平成23年6月28日提出

北栄町教育委員会教育長 岩垣 博士

記

別紙のとおり

● 準要保護児童生徒認定状況

議案第54号関係 資料

(単位:人)

| | | 申請者 | | | | | 認定 | | | | | 不認定 | | | | | | | |
|-------|--------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 保護者 | 対前年比較 | うち新規者 | 児童・生徒 | 対前年比較 | うち新規者 | 保護者 | 対前年比較 | うち新規者 | 児童・生徒 | 対前年比較 | うち新規者 | 保護者 | 対前年比較 | うち新規者 | 児童・生徒 | 対前年比較 | うち新規者 |
| 北条地区 | 平成20年度 | 24 | | 4 | 31 | | 4 | 21 | | 2 | 28 | | 2 | 3 | | 2 | 3 | | 2 |
| | 平成21年度 | 32 | 8 | 12 | 52 | 21 | 23 | 27 | 6 | 8 | 45 | 17 | 16 | 5 | 2 | 4 | 7 | 4 | 7 |
| | 平成22年度 | 30 | -2 | 8 | 43 | -9 | 11 | 27 | 0 | 5 | 39 | -6 | 7 | 3 | -2 | 3 | 4 | -3 | 4 |
| | 平成23年度 | 29 | -1 | 9 | 44 | 1 | 13 | 21 | -6 | 4 | 33 | -6 | 6 | 8 | 5 | 5 | 11 | 7 | 7 |
| 大栄地区 | 平成20年度 | 30 | | 8 | 49 | | 14 | 26 | | 5 | 38 | | 6 | 4 | | 3 | 11 | | 8 |
| | 平成21年度 | 20 | -10 | 6 | 34 | -15 | 11 | 18 | -8 | 4 | 30 | -8 | 7 | 2 | -2 | 2 | 4 | -7 | 4 |
| | 平成22年度 | 24 | 4 | 4 | 34 | 0 | 6 | 21 | 3 | 2 | 29 | -1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 5 | 1 | 4 |
| | 平成23年度 | 19 | -5 | 2 | 25 | -9 | 3 | 19 | -2 | 2 | 25 | -4 | 3 | 0 | -3 | 0 | 0 | -5 | 0 |
| 合計 | 平成20年度 | 54 | | 12 | 80 | | 18 | 47 | | 7 | 66 | | 8 | 7 | | 5 | 14 | | 10 |
| | 平成21年度 | 52 | -2 | 18 | 86 | 6 | 34 | 45 | -2 | 12 | 75 | 9 | 23 | 7 | 0 | 6 | 11 | -3 | 11 |
| | 平成22年度 | 54 | 2 | 12 | 77 | -9 | 17 | 48 | 3 | 7 | 68 | -7 | 9 | 6 | -1 | 5 | 9 | -2 | 8 |
| | 平成23年度 | 48 | -6 | 11 | 69 | -8 | 16 | 40 | -8 | 6 | 58 | -10 | 9 | 8 | 2 | 5 | 11 | 2 | 7 |
| 北条小学校 | 平成20年度 | | | | 21 | | 3 | | | | 19 | | 2 | | | 2 | | | 1 |
| | 平成21年度 | | | | 33 | 12 | 16 | | | | 29 | 10 | 13 | | | 4 | 2 | | 3 |
| | 平成22年度 | | | | 24 | -9 | 7 | | | | 22 | -7 | 5 | | | 2 | -2 | | 2 |
| | 平成23年度 | | | | 27 | 3 | 11 | | | | 18 | -4 | 5 | | | 9 | 7 | | 6 |
| 大栄小学校 | 平成20年度 | | | | 23 | | 10 | | | | 16 | | 5 | | | 7 | | | 5 |
| | 平成21年度 | | | | 12 | -11 | 5 | | | | 9 | -7 | 2 | | | 3 | -4 | | 3 |
| | 平成22年度 | | | | 15 | 3 | 4 | | | | 13 | 4 | 2 | | | 2 | -1 | | 2 |
| | 平成23年度 | | | | 11 | -4 | 2 | | | | 11 | -2 | 2 | | | 0 | -2 | | 0 |
| 北条中学校 | 平成20年度 | | | | 10 | | 1 | | | | 9 | | 0 | | | 1 | | | 1 |
| | 平成21年度 | | | | 19 | 9 | 7 | | | | 16 | 7 | 3 | | | 3 | 2 | | 4 |
| | 平成22年度 | | | | 19 | 0 | 4 | | | | 17 | 1 | 2 | | | 2 | -1 | | 2 |
| | 平成23年度 | | | | 17 | -2 | 2 | | | | 15 | -2 | 1 | | | 2 | 0 | | 1 |
| 大栄中学校 | 平成20年度 | | | | 26 | | 4 | | | | 22 | | 1 | | | 4 | | | 3 |
| | 平成21年度 | | | | 22 | -4 | 6 | | | | 21 | -1 | 5 | | | 1 | -3 | | 1 |
| | 平成22年度 | | | | 19 | -3 | 2 | | | | 16 | -5 | 0 | | | 3 | 2 | | 2 |
| | 平成23年度 | | | | 14 | -5 | 1 | | | | 14 | -2 | 1 | | | 0 | -3 | | 0 |
| 合計 | 平成20年度 | | | | 80 | | 18 | | | | 66 | | 8 | | | 14 | | | 10 |
| | 平成21年度 | | | | 86 | 6 | 34 | | | | 75 | 9 | 23 | | | 11 | -3 | | 11 |
| | 平成22年度 | | | | 77 | -9 | 17 | | | | 68 | -7 | 9 | | | 9 | -2 | | 8 |
| | 平成23年度 | | | | 69 | -8 | 16 | | | | 58 | -10 | 9 | | | 11 | 2 | | 7 |

資料 1

- ・ 教科用図書採択について

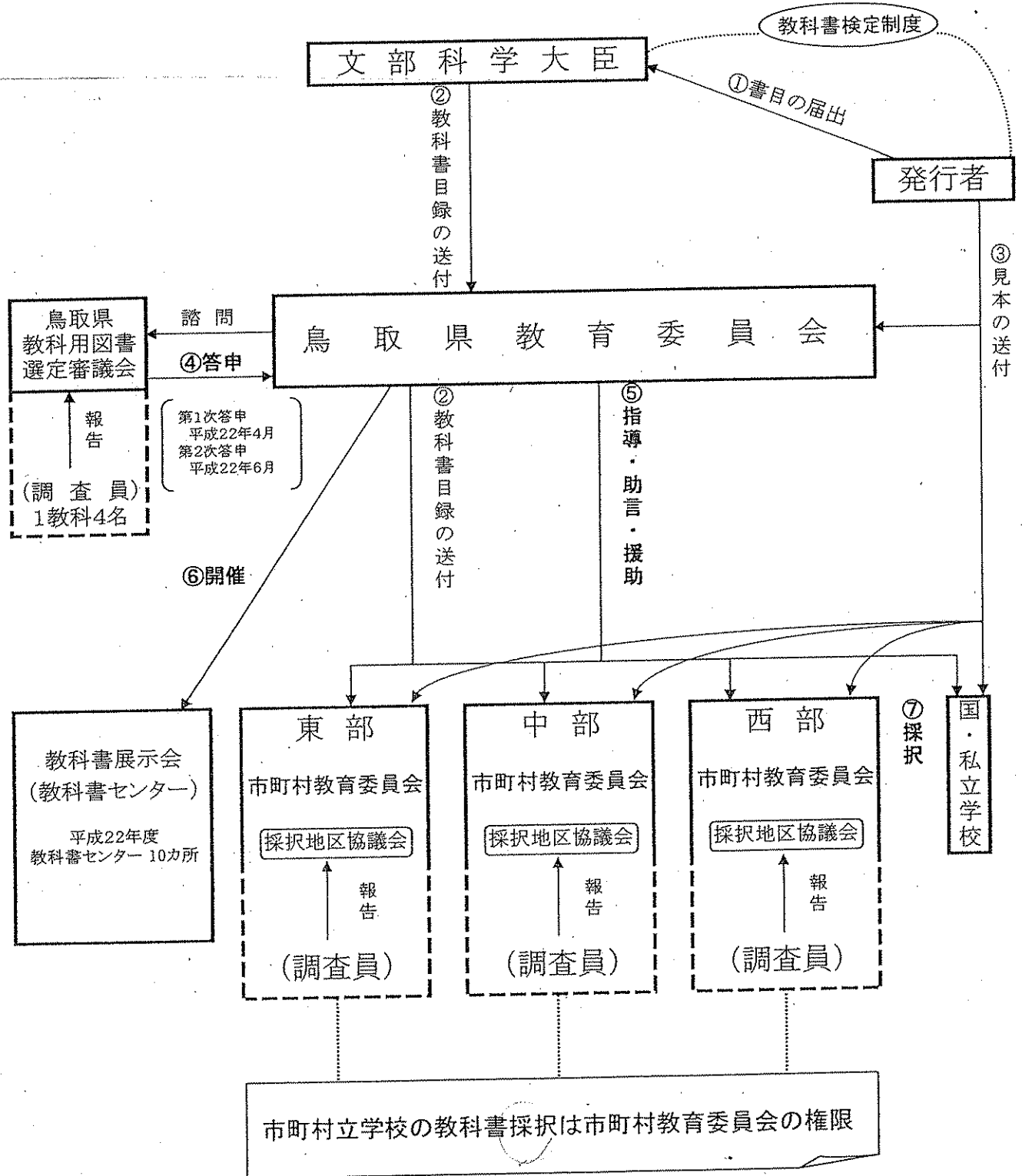
今後のスケジュール

小・中学校の教科用図書の検定・採択の周期

| | 年度 | H12 | H13 | H14 | H15 | H16 | H17 | H18 | H19 | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 |
|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | | 2000 | 2001 | 2002 | 2003 | 2004 | 2005 | 2006 | 2007 | 2008 | 2009 | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 | 2014 | 2015 |
| 小学校 | 検定 | ◎ | | | ◎ | | | | ◎ | | ◎ | | | | ◎ | | |
| | 採択 | | △ | | | △ | | | | △ | | △ | | | | △ | |
| | 使用開始 | | | ○ | | | ○ | | | | ○ | | ○ | | | | ○ |
| 中学校 | 検定 | ◎ | | | | ◎ | | | | ◎ | | ◎ | | | | ◎ | |
| | 採択 | | △ | | | | △ | | | | △ | | △ | | | | △ |
| | 使用開始 | | | ○ | | | | ○ | | | | ○ | | ○ | | | |

- (注)
- ◎: 検定年度
 △: 前年度の検定で合格した教科用図書の採択が行われる年度
 ○: 使用開始年度
 - 太線以降は、学習指導要領改訂後の教育課程の実施に伴う教科用図書についてである。
 - 平成19年度の小学校教科用図書検定については、発行者から検定申請がなされなかった。

教科書採択の制度概要



(注) 各市町村教育委員会における採択結果は、8月31日までに県教育委員会に報告される。

5 協議事項

●音田教育振興基金

★高等学校入学準備費給付金交付事業（案）

- 1 事業の目的 北栄町に住所を有する中学生のうち、向学心旺盛で成績優秀でありながら経済的理由により勉学を継続することが困難な者に対し、高等学校の入学に係る経費の一部を給付し、もって、地域社会の発展に寄与する有用な人材を育成すること
- 2 対象者 北栄町に住所を有する中学校3学年で高等学校に進学する者
 ※ 給付金は、対象生徒の保護者へ給付（口座振込み）する。
- 3 給付金の額 1人あたり 年額10万円（1回のみ）
- 4 給付の時期 該当年度の3月末日まで
- 5 給付予定数 6人 ※ 増減対応を行う。
- 6 給付手続き (1) 周知・募集 10月から
 (スケジュール) ※ 該当者チラシ配布（町内中学校、区域外就学者（いじめ等自己の意思によらない場合）等）
 (2) 申請期限 12月
 ※ 保護者（申請書、所得課税証明書）
 ↓
 学校（成績証明書、学校での生活状況がわかる資料添付）
 ↓
 教育委員会
 (3) 給付審査 翌年 2月
 ※ 給付審査委員会（仮称）により審査
 委員会構成（予定）：町長、副町長、教育委員長、教育長、
 中学校長
 (4) 給付決定通知 翌年 3月（下旬）
 (5) 給付金支払い（口座振込み） 翌年 3月（下旬）
- 7 給付の基準 ①前年度市町村民税（所得割・均等割）非課税世帯
 ※ 同居で世帯分離している場合でも、住居が共通（例：水道栓が同一など）など生活の実態が同一であると判断される場合は、生計が同一と判断し、同一世帯として取り扱う。
 ②毎年度12月1日現在において生活保護認定基準を満たす世帯
 ③生活保護受給世帯は除く。（生活保護費で支援されているため）
 ④当該年度において、病気等により就労できず、かつ、収入及び貯蓄が著しく少ない等生活に困窮していると認められる世帯

⑤該当生徒の3学年の成績が平均して「3」以上、かつ、学校における生活態度が良好と認められるもの。

⑥返還する必要のない他の同種給付金を受給している場合は除く。(借受返還方式の奨学金は、将来にわたり返還するものであるため重複することは認める。)

8 その他

- ・不正等により給付金を受給した場合は給付金の返還を求める。
- ・給付にあたっては、合格・入学手続き確認を行うものとし、入学しないことを知ったときには給付金の返還を求める。

(参考)

・給付基準①「市町民税非課税」の所得目安

- 1 生活保護法による生活扶助を受けている人・・・今回事業対象外者
- 2 障がい者、未成年者、老年者、寡婦(寡夫)で前年の合計所得金額が125万円以下の人
- 3 次に該当する人

前年所得(控除後) $\leq 280,000 \text{円} \times (\text{扶養親族人数} + 1) + 168,000 \text{円}$

(参考) 前年所得(控除後)が100万円で中学生1人、小学生1人を扶養している場合

$$280,000 \text{円} \times (2 + 1) + 168,000 \text{円} = 1,008,000 \text{円}$$

⇒ 市町村民税(均等割分)非課税

・準要保護児童生徒(中学校3学年)認定状況

| 年 度 | 北条中学校 | 大栄中学校 | 合 計 |
|--------|-------|-------|------|
| 平成22年度 | 5 人 | 7 人 | 12 人 |
| 平成21年度 | 5 人 | 7 人 | 12 人 |
| 平成20年度 | 2 人 | 10 人 | 12 人 |
| 平成19年度 | 7 人 | 5 人 | 12 人 |

●教育委員先進事例視察研修について

目 的 他県の市町村教育委員会及び学校が連携し「特色のある学校づくり」や「学力向上施策」に独自に取り組んでいる事業やその中における教育委員会（事務局）の関わりについて、先進的な事例を研修する。

それにより、今後の北栄町教育委員会の人的体制の整備や学校との連携、また、北栄町立小中学校独自の学力向上策に反映させることで北栄町内の子どもたちの育成に役立てるとともに、教育委員会の資質の向上を図るものとする。

視 察 先
(未定)

教委関係 { 広島県尾道市教育委員会・・・尾道教育さくらプラン3
 " 神石高原町教育委員会・・・中学校学力向上対策事業
 " 世羅町教育委員会・・・世羅町教育委員会研究指定校
 岡山県津山市教育委員会・・・学校モデルスクール（3年間教科指定）

学校関係 — 広島県尾道市立長江小学校・・・尾道市特色ある教育研究推進事業（課題解決パイロット校）

視察時期 10月ごろ（…9月は定例議会の月となるため）

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|-----------|----|----|----|----|
| | | | | | | 1 |
| 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| 9 | ⑩ | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
| 23 | 24 | 25 委員会 | 26 | 27 | 28 | 29 |
| 30 | 31 | | | | | |

平成22年10月吉日

各教育事務所長様
各教育委員会教育長様
各各学関校係長者様

尾道市教育長 半田 光行
尾道市立長江小学校長 河野真由美

尾道教育さくらプラン2

平成22年度尾道市特色ある教育研究推進事業 課題解決パイロット校(学力向上)

第11回長江小学校教育研究会

(一次案内)

秋冷の候、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
さて、第11回尾道市立長江小学校教育研究会を次のように開催いたします。
皆様には、ご多用のこととは存じますが、多数ご参加いただき、ご指導ご助言を賜りますよう、ご案内申し上げます。



「かかわり」で高まる知の創造

～豊かなかかわりを通して～

- 1 期 日 平成23年2月4日(金)
- 2 会 場 尾道市立長江小学校
- 3 主 催 尾道市教育委員会・尾道市立長江小学校
- 4 日 程

8:208:45 9:00 10:00 11:10 11:45 12:25 13:20 14:30 16:15 16:30

| | | | | | | | | | |
|----|-------|--|---|------------------------|--------------|-------|-------------------------------------|--------|------|
| 受付 | ガイダンス | 公開授業Ⅰ 2年国語 3年算数 5年理科 6年算数(習熟別) 知的障害特別 支援学級 | 公開授業Ⅱ 1年算数 4年国語 5年道徳 自閉症・情緒 障害特別支援 学級 | 児童発表 合唱 能 しの笛 | 開会行事 研究報告 | 昼食・休憩 | 協議会 国語部会 算数部会 特別支援 教育部会 | シンポジウム | 閉会行事 |
|----|-------|--|---|------------------------|--------------|-------|-------------------------------------|--------|------|

5 シンポジウム

テーマ『新教育課程における授業づくり』

コーディネーター 国立教育政策研究所教育課程センター基礎研究部長 角屋重樹先生
 広島大学 名誉教授
 シンポジスト 国立教育政策研究所教育課程センター総括研究官 吉富芳正先生
 広島大学大学院教育学研究科教授 吉田裕久先生
 尾道市教育委員会教育研究アドバイザー 豊田博子先生
 元文部科学省評価委員、元尾道市立長江小学校長

- 6 連絡先
 広島県尾道市立長江小学校 研究主任 保森智彦
 〒722-0046 広島県尾道市長江二丁目8番12号
 TEL(0848)37-3911, FAX(0848)37-3912
 URL: <http://www.onomichi.ed.jp/nagae-e/>
 E-mail: nagae-e@onomichi.ed.jp
- ◎ 詳しくは二次案内でお知らせいたします。

広島県東部教育事務所長様
各教育委員会教育長様
各 学 校 長 様
各 関 係 者 様

平成22年12月吉日

尾道市教育長 半田 光行
尾道市立長江小学校長 河野 真由美

教育研究会への参加について

1 参加申し込み

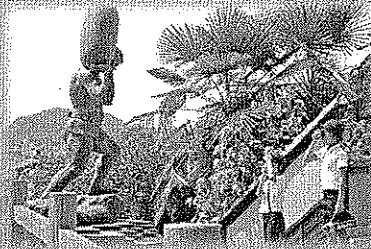
参加希望の方は下記申込書に記入し、次の申込先まで郵送、FAX、電話、またはメールでお申し込みください。（ホームページ上からも申し込みいただけます。）
締め切りを1月28日（金）といたします。
なお、当日受付もいたします。

2 申し込み先

〒722-0046
広島県尾道市長江二丁目8番12号
尾道市立長江小学校 研究主任 保森智彦
TEL 0848-37-3911
FAX 0848-37-3912
Email nagae-e@onomichi.ed.jp
URL <http://www.onomichi.ed.jp/nagae-e>

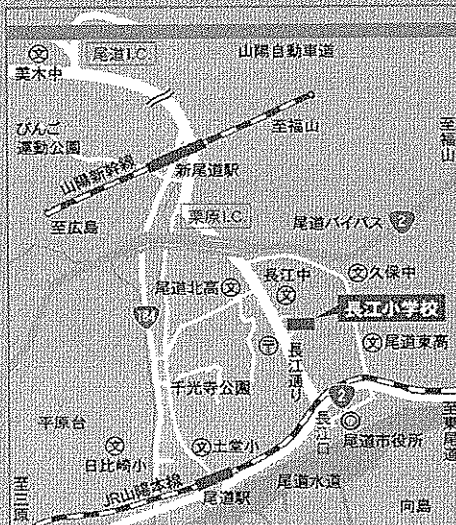
3 その他

- 研究会当日の弁当を希望される方は、「参加申込書」の弁当(1000円お茶付き)希望欄に○印をつけて申し込んでください。弁当代は当日研究会弁当受付にてお支払いください。なお、当日の弁当のお申し込みはできません。
- 駐車場(グラウンド)を用意しておりますが、台数に制限があります。できる限り乗り合わせてお越しください。
- 参加費・資料代は1000円です。当日、受付でいただきます。



(キトリセン)

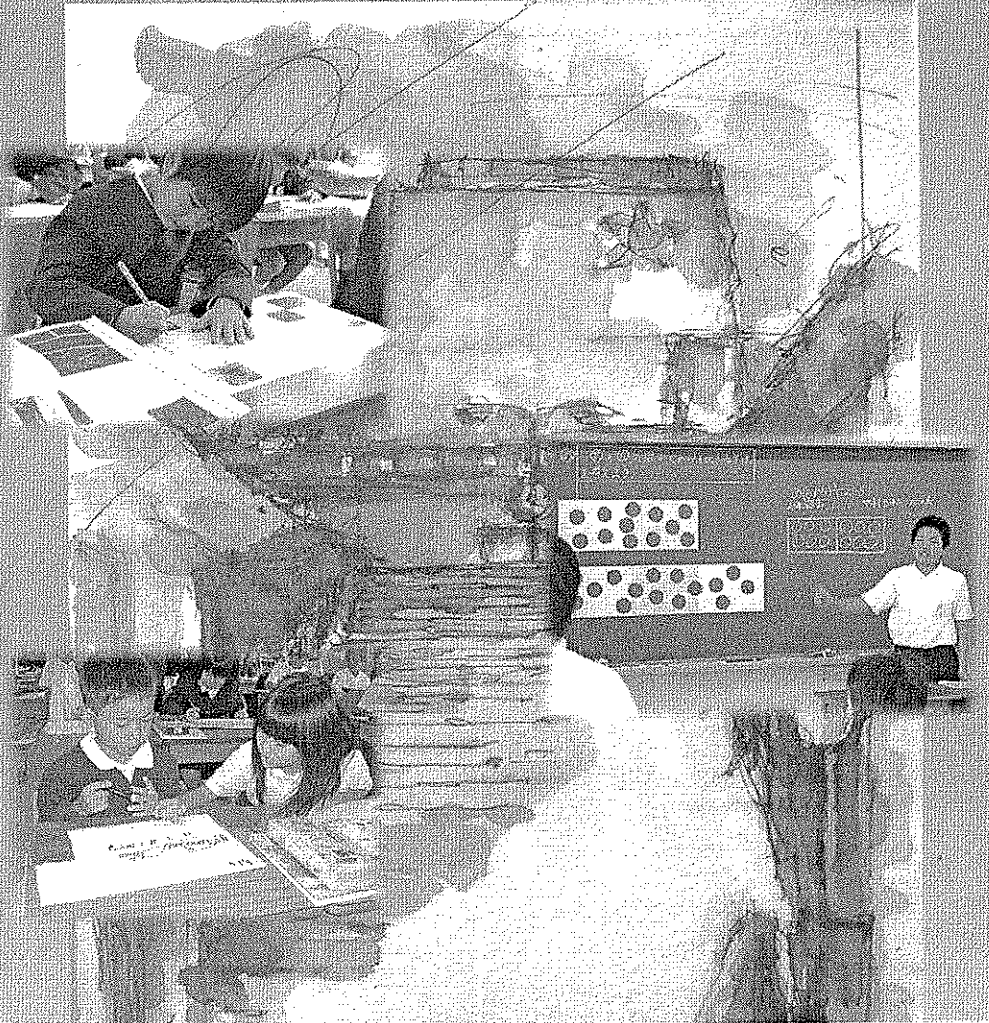
交通のご案内



※7:30~8:30まで長江通りは、長江口方面からの車両進入禁止です。
所要時間：尾道駅からタクシーで約5分、新尾道駅からタクシーで約5分です。

尾道教育さくらプラン2 尾道市教育課題解決パイロット校(学力向上)

第11回 尾道市立長江小学校 教育研究会



期日 平成23年2月4日(金)

会場 尾道市立長江小学校

主催 尾道市教育委員会
尾道市立長江小学校

第11回 長江小学校教育研究会 参加申込書 締切 1月28日(金)

| 学校名 | | 電話番号 | |
|-----|----|---------------------|--------------|
| 職名 | 氏名 | 参加される協議会に○をつけてください。 | 弁当・お茶(1000円) |
| | | 国語科・算数科・特別支援教育 | 有・無 |
| | | 国語科・算数科・特別支援教育 | 有・無 |
| | | 国語科・算数科・特別支援教育 | 有・無 |
| | | 国語科・算数科・特別支援教育 | 有・無 |

研究主題 「かかわり」で高まる知の創造


～豊かなかかわりを通して～

Symposium

開会行事・研究報告

開会行事
挨拶
尾道市教育委員会
尾道市立長江小学校
校長 河野真由美

研究報告
研究主任 保森智彦



協議会 13:15~14:15

- 国語科分科会 (於：体育館下の遊戯室)
助言者 広島大学大学院教育学研究科教授 吉田裕久先生
尾道市教育委員会指導主事 本安公範先生
- 算数科分科会 (於：少人数指導ルーム2 3階)
助言者 尾道市教育委員会教育研究アドバイザー 豊田博子先生
尾道市教育委員会指導主事 阿世比丸佐保里先生
- 特別支援教育分科会 (於：特別支援学級 1階)
助言者 尾道特別支援学校地域支援部長 大坪浩恵先生
尾道市教育委員会指導主事 神原雅彦先生

シンポジウム 14:30~16:15 於：体育館

テーマ「新教育課程における授業を考える」



コーディネーター
角屋重樹 先生

文部科学省初等中等教育局教科調査官、広島大学大学院教育学研究科教授、広島大学名誉教授。広島大学附属福山中学校・高等学校校長(併任、副理事(附属学校担当)等を経て、現在、国立教育政策研究所基礎研究部長。



シンポジスト
吉富芳正 先生

文部科学省初等中等教育局教育課程課学校教育官、道徳教育調査官を経て、現在、文部科学省初等中等教育局視学官、国立教育政策研究所 教育課程研究センター 基礎研究部総括研究官を兼任。



シンポジスト
吉田裕久 先生

全国大学国語教育学会(理事長)、日本教科教育学会(理事)、日本国語教育学会(理事)等に所属。広島大学大学院教育学研究科教授、教育学研究科副研究科長、並びに同副教育学部長を兼任。



シンポジスト
豊田博子 先生

元尾道市立長江小学校校長。平成17年度、長年の功績により広島県教育賞を受賞。文部科学省評価委員を経て、現在、尾道市教育委員会教育研究アドバイザーとして市内小中学校への指導・助言にあたる。

19

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|-------|-----------|------|---------|-------|-------|--------------|----------|-------|-------|--------|-------|-------|
| 8:20 | 8:45 | 8:55 9:00 | 9:45 | 10:00 | 10:45 | 11:10 | 11:35 | 12:15 | 13:15 | 14:15 | 14:30 | 16:15 | 16:30 |
| 受付 | ガイダンス | 公開授業 I | 移動 | 公開授業 II | 移動 | 児童発表 | 開会行事 研究報告 | 昼食 休憩 | 協議会 | 移動 | シンポジウム | 開会行事 | |

Open School

公開授業 I 9:00~9:45

| 学年・学級 | 教科領域 | 単元名(場所) | 指導者 |
|----------------|------|------------------------------|--------------|
| 第2学年1組 | 国語科 | 世界のかくれんぼ(第2学年教室 2階) | 齋藤知世 |
| 第3学年1組 | 算数科 | 重さ(第3学年教室 3階) | 渡邊良平 |
| 第5学年1組 | 理科 | 電磁石のはたらき(理科室 東館4階) | 植木雅子 |
| 第6学年1組 | 算数科 | 拡大図と縮図(第6学年教室, 少人数指導ルーム1 4階) | 山藤弘基 保森智彦 |
| 知的障害 特別支援学級 | 道徳 | ぼくはぼく(ひまわり学級 1階) | 大谷瞳子 |

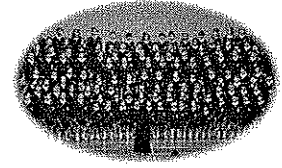
公開授業 II 10:00~10:45


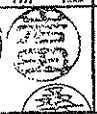



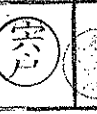
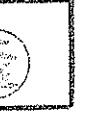
| 学年・学級 | 教科領域 | 単元名(場所) | 指導者 |
|--------------------|------|---------------------------|--------------|
| 第1学年1組 | 算数科 | ずをつかってかんがえよう(第1学年教室 2階) | 山口晴子 |
| 第4学年1組 | 国語科 | あめんぼはにん者か(第4学年教室 3階) | 小鷹狩美菜 |
| 第5学年1組 | 道徳 | 見つめよう わたしのふるさと(第5学年教室 4階) | 来山桂子 |
| 自閉症・情緒障害 特別支援学級 | 国語科 | ことばって おもしろいな(おじさい学級 1階) | 利田政美 兼田理江 |

児童発表 11:10~11:35 於：体育館

能 「尾道の四季」
しの笛「さくら」「荒城の月」他 (第5学年児童)

合唱 「海はぼくらの生命」 (全校児童)




| 教育長 | 主 管 長 | 課 長 補 佐 | 係 長 | 回 議 | 主 査 |
|-----|---|--|---|---|---|
| |  |   |  |   |  |

発北議第43号

平成23年6月1日

北栄町教育委員会

委員長 吉田助三郎 様

北栄町議会議長 池田捷昭



一般質問について（通知）






平成23年6月9日招集予定の本町議会定例会において、別紙の質問がされる予定ですので、あらかじめ通知いたします。



平成23年第5回北栄町議会定例会

一般質問 質問事項一覧


| | 質問者 | 質問事項 | 質問の相手 |
|----|----------------|---------------------------|-------|
| 1 | 4番 井上信一郎議員 | オールLEDのまちを目指して | 町長 |
| 2 | 3番 前田栄治議員 | 人口増加対策について | 町長 |
| 3 | 7番 山下昭夫議員 | これからの北栄町職員の創造と地域おこしについて | 町長 |
| 4 | 13番 石丸美嗣議員 | 北栄町自治会総合交付金について | 町長 |
| 5 | 2番 飯田正征議員 | 地域防災について | 町長 |
| 6 | 10番 長谷川昭二議員 | 防災対策について | 町長 |
| | | 介護保険見直しへの対応について | 町長 |
| | | 給食調理の民間委託について | 教育委員長 |
| 7 | 5番 青亀恵一議員 | 防災対策の見直しについて | 町長 |
| | | 湖南省との友好交流について | 町長 |
| 8 | 14番 阪本和俊議員 | 全町公園化の取り組みについて | 町長 |
| 9 | 1番 奥田伸行議員 | 農業政策について町長の戦略は | 町長 |
| 10 | 9番 浜本武代議員 | 「結婚を願う独身者」がみんな結婚できる町をめざして | 町長 |
| | 計10人 | 計13問 | |

| | | | | | |
|---|---|------|---|---|---|
| 議長 | 局長 | 局長補佐 | 係長 | 回議 | 主査 |
|  |  | |  |  |  |

受付番号 235 番
 平成23年 5月30日
 午前 8時32分 受領

平成23年 5月29日

北栄町議会議長 池田捷昭様

北栄町議会議員 長谷川 昭二  印

一般質問通告書

次のとおり通告します。

| 質問事項 | 質問の要旨 | 質問の相手 |
|-----------------|---|-------|
| 防災対策について | <p>本町の過去の災害といえば、豪雨による水害が思い起こされます。この度の東日本大震災では、津波の驚異をまざまざと見せつけられました。これは、北栄町の地形を考えると決してよそ事ではありません。災害時の住民の安全をどう確保するのかは、本町にとっての最重要課題です。その観点から、もしもの時の避難所の充実及び避難所への交通の確保も考える必要があります。</p> <p>しかし、現実には、避難経路となる町道が豪雨の度に浸水して通行不能になっている所（由良駅南、鳥取中央育英高校東）もあります。こうした点を含め、今後の防災対策についてのお考えをお聞きします。</p> | 町長 |
| 介護保険見直しへの対応について | <p>介護保険法の改定案は、要支援に対する国の財政負担削減を目的に、「要支援」と認定された人へのサービスを、市町村の判断で安上がりなものにおきかえられる新たな仕組みを盛り込んでいます。サービス低下につながると指摘されています。</p> <p>本町実施の「第5期介護保険計画にかかる意見募集について」のアンケート調査でも、その設問の5では介護保険料について「第5期の国の平均見込み保険料は、5000円程度」に引き上がるとしています。そして、4文章の中から選択することになっています。しかし、選択文書の内容は、保険料を引き上げることを前提としたものだけで、「保険料を上げないでサービスを充実させてほしい」という被保険者の思いは、くみ取れないものになっています。</p> <p>これでは、保険料は上がり、サービスは低下するという、被保険者が全く望んでいないことになります。こうした町民の要望に応えるお考えはないのかお聞きします。</p> | 町長 |

| 質問事項 | 質問の要旨 | 質問の相手 |
|---------------|---|-------|
| 給食調理の民間委託について | <p>学校給食の民間委託について、「新給食センターの運営状況を見ながら検討する。」ということでした。その後の検討経過についてお聞きします。</p> | 教育委員長 |

一 般 質 問 答 弁 書

| | | | |
|----------------|--|-------|-------------|
| 質問事項番号 | 6番 | 質問議員名 | 長谷川 昭二(10番) |
| 質問事項 (質問要旨) | 学校給食の民間委託について、「新給食センターの運営状況を見ながら検討する。」ということでした。その後の検討経過についてお聞きします。 | | |
| 答 弁 者 | 教育委員長 | 担 当 課 | 教育総務課 |

〔答弁要旨〕

長谷川議員のご質問にお答えします。

学校給食の民間委託の検討状況についてのご質問ですが、現在は、検討をするために必要な資料や情報を、収集している状況でございます。

学校給食の民間委託の検討にあたっては、「安心・安全な給食の提供を保障しながら、公費負担部分の経費削減を図ることができるかどうか」でございますので、その検討を行なうためには、つぎの2つの観点による検討が必要だと考えており、その観点に基づき再度資料や情報を収集しているものです。

まず、ひとつ目の観点としては、当然ですが、民間委託にすることにより、どの程度の公費負担部分の経費が削減できるかどうかという点でございます。このため、一度見積書を提出して頂いた複数の業者に、新しくなりました給食センターの施設や設備を夏休み中に実際に見てもらったうえで、調理員数や経費節減対策を考慮した上での再度の見積もり提出をお願いいたします。このことにより、より正確な経費削減額がわかるかと考えております。

併せて統合した給食センターの年間の光熱水費の運営経費を把握し、確定させることも必要です。これは、町が、民間委託を検討しているのは調理や食器の洗浄等の作業部分に関するものだけですので、電気や水道の経費は、民間委託することになっても、町が負担することには変わりありません。しかし、そのため、電気や水道が無計画に使われないよう、把握しておかなければならないものでございます。

もうひとつの観点は、安心・安全な給食の提供を保障するためには、委託する業者を選定するにあたって、クリアすべき明確な指標となる項目を決定しておかなければならないという観点です。

先行実施している自治体の例をみれば、委託する業者を選定するにあたっては

- ①【安定度】事業所の経営状況など
- ②【理解度】学校給食への衛生管理の理解度や職員研修の体制

- ③【人材体制】トラブル時のバックアップ体制など
- ④【見積書】人員配置数や人件費の額が極端に抑えられていないか
- ⑤【契約条項】不測の事態のために、業務代行の考えに賛同するか
- ⑥【契約期間】どの程度の期間で契約を結ぶことができるか
- ⑦【その他】除去食・代替食の調理の対応・ノウハウ



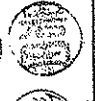

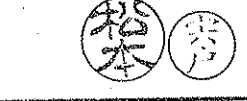
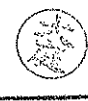

などの項目を判断材料にしています。

本町でも、先行している自治体の例を参考にし、委託する業者を選定するにあたっての指標項目を決定し、その項目すべてをクリアする業者の中から、委託先を決めるようにしなければならないと考えております。

特に見積書における人員配置数や人件費が極端に抑えられていないかどうかは、雇用や待遇面からも、十分に審査しなければならない項目だと考えております。

また、法的な問題として【偽装請負】と捉えかねられないという点がありますので、・・・この【偽装請負】と申しますのは請負の形をとっているのにも関わらず、契約主が直接、労働者を指揮命令すれば【労働者派遣】となり労働基準法第6条（中間搾取の排除）」に抵触するというものでございます。これについては、学校栄養士の指示書に基づいて、委託業者において、調理導線表や調理工程表を作成することの基本ルールを遵守することで、委託業者の独立性と専門性を確保し、懸念をもたれないようにしなければならないという考えを、町も委託業者も共通して理解しておかなければならないと考えております。

最後に、新しくなりました給食センターは、昨年10月1日から稼動し始めたわけですが、シミュレーションをしていたにも関わらず、実際に稼動してみると、慣れない調理器具や勝手の違う調理室に戸惑うことも多くあり、後片付けや、今日の作業内容の反省をするミーティングや明日の作業工程表の作成を終えて業務終了となるのが午後8時になることもしばしばございました。作業工程の見直し、作業人員配分の見直しを重ね、ひととおりの給食メニューの調理を経験したことで、軌道にのりはじめましたのは、今年の1月になってからでした。そのため、統合から12月までの期間の運営経費は通常の経費より多くかかっている可能性もあります。ですので、今年1月から12月までの運営経費をもって年間の必要経費と判断したいと考えておるところです。

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 教育長 | 主 課 長 | 課 補 長 佐 | 係 長 | 回 議 | 主 査 |
|  |  |  |  |  |  |
| |  | | | | |

発北議第51号
平成23年6月17日

北栄町教育委員会

委員長 吉田 助三郎 様

北栄町議会議長 池田 捷昭

陳 情 の 送 付 に つ い て

平成23年6月15日の会議において採択した陳情を、地方自治法第125条の規定により送付します。

記

- 1 件 名 平成23年陳情第4号
中学校で使用する新しい教科書の採択に関する陳情
- 2 内 容 別添のとおり
- 3 意 見 改正教育基本法及び新学習指導要領の趣旨を十分に踏まえた、公正かつ適切な教科書採択を実施されること。



| | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|
| 議員 | 議員 | 議員 | 議員 | 議員 | 議員 |
| 田中 | 田中 | 田中 | 田中 | 田中 | 田中 |

中学校で使用される新しい教科書の採択に関する陳情

北栄町 議会議長 殿

平成二十三年 五月二十五日

陳情者 教育を考える鳥取県民の会 代表 草瀬 宜輝 

(鳥取市雲山六四一電話〇八五七・二九・四〇七九)

陳情要旨

平成二十四年度から四年間使用される県下市町村立中学校教科書が、主に各自治体教育委員会によって構成される採択協議会により選定されることになっております。鳥取県中部採択協議会においては歴史教科書及び公民教科書に関し、改正教育基本法及び新学習指導要領の趣旨を十分に踏まえた、公正かつ適切な教科書採択を実施されるよう要望いたします。

陳情の理由

先の大戦で我が国はまさに焦土と化しましたが、国民の不屈の努力により見事に立ち直って世界第二の経済大国までになりました。しかし、その後進取の気力を次第に失い、全てが停滞し失われた二十年といわれるようになって今日に至っています。そこへこの度の東日本大震災で戦後最大と言われる困難に直面しました。幸い難事に強い不屈の精神は生きていたようでこのまま沈下してしまふことはなさそうです。とは言えこの復旧に使った国力は、次の世代に重くのしかかってくるはずで、それを担うのは、今学校に学ぶ子供たちであります。彼らがそれを耐え乗切するためには、日本人としての矜持が必要であります。そして、彼らをしてそうならしめるのは、教育にほかなりません。教育基本法及び学校教育法の改正、学習指導要領の全面改訂を受け、文部科学省は平成二十一年に新しい教科書検定基準を告示しました。その中で、教科書は「公共の精神を尊び、国家・社会の形成に主体的に参画する国民」及び「我が国の伝統と文化を基盤として国際社会を生きる日本人」育成の為、豊かな情操と道徳心、伝統文化の尊重や我が国と郷土を愛すること等の教育基本法の目標と一致しなければならぬと定めています。

また、文部科学省の教科用図書検定調査審議会は、教育委員会が装丁や見映えでなく、内容を考慮した綿密な調査研究を公正かつ的確に行い、適正な教科書採択していくことを求めています。

よって、教育委員会においては、教育委員・学校関係者へ教育基本法の改正、学校教育法の改正、学習指導要領の改訂について内容の周知徹底を図るとともに、それに最も適した教科書を採択されることを強く要望するものであります。



受北教総第206号
平成23年6月3日

北栄町立北条小学校
校長 北村 秀徳 様

北栄町教育委員会
教育長 岩垣 博士

みどり西子ども会通学路の変更について（通知）

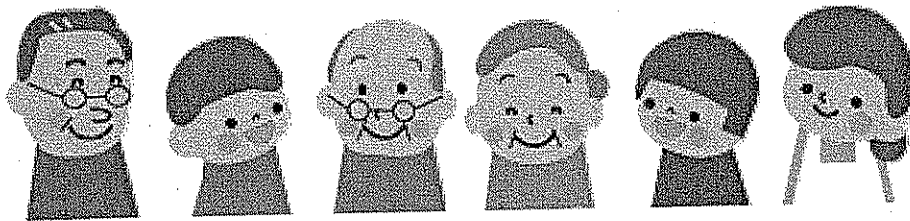
平成23年5月2日付で北条小学校長からみどり西子ども会からの要望に基づく通学路変更申請につきましては、平成23年5月31日開催の平成23年第7回教育委員会定例会で審議した結果、適当であると認めましたので通知します。

教育シンポジウム

テーマ

あなたが支え・育む

「未来をつくる ほくえいの子ども」



平成23年6月13日(月)19:00~21:00

北栄町大栄農村環境改善センター

主催 北栄町・北栄町教育委員会

ねらい

- これからの社会を生きる子どもたちに「生きる力」すなわち知・徳・体のバランスのとれた力を育てるために、大人がそれぞれの立場でできることは何か、専門家の話を聞き、一緒に考え、一人ひとりが実践していけるようにする。
- アナウンサーの朗読を聞くことにより、文章を声に出して読むことのすばらしさを感じ、家庭での音読につなげる。

プログラム

1 開会 (19:00)

- あいさつ 北栄町長 松本昭夫
北栄町教育委員会教育長 岩垣 博士

2 教科書朗読 (19:10~19:35)

- 日本海テレビアナウンサー 岡崎 菜都子さん
「空に ぐうんと 手を のばせ」 しんざわ としひこ
(小学校2年生教材・詩)
- 「海のいのち」 立松 和平 (小学校6年生教材・物語)
- 「走れメロス」 太宰 治 (中学校2年生教材・物語)

3 シンポジウム (19:35~20:55)

- シンポジスト
鳥取市立病院小児科部長 長石 純一先生
鳥取大学 名誉教授 油野 利博先生
鳥取大学 副学長 矢部 敏昭先生
- コーディネーター
県教委事務局小中学校課義務教育主査 牧野 厚志先生

4 閉会 (21:00)

<朗読者プロフィール>

おかざき なつこ
岡崎 菜都子 さん 北栄町出身（大栄小・大栄中卒業生）

2008年 日本海テレビに入社。アナウンサーとして活躍中。
現在の担当は、「とっとり TRY!」「ストレートニュース」など。

空に ぐうんと 手を のばせ

しんざわ としひこ

空に ぐうんと 手を のばせ

わたぐも

すじぐも

かきわけて

でっかい おひさま

つかまえる

海に ぐうんと 手を のばせ

大波

小波

かきわけて

でっかい くじらを

つかまえる

横に ぐうんと 手を のばせ

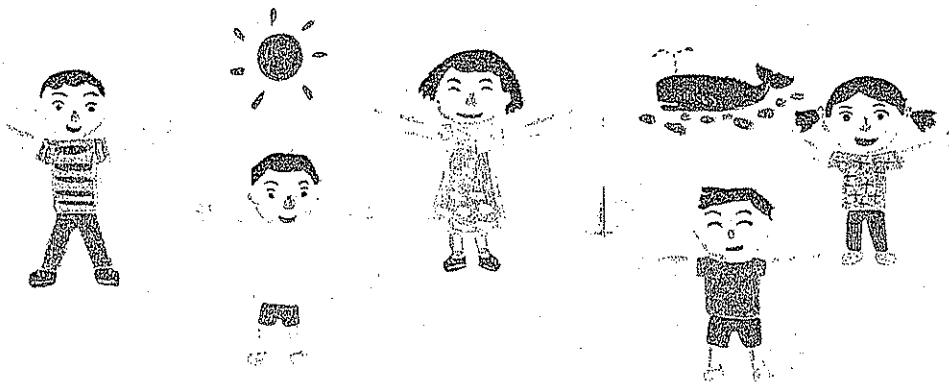
だれかと しっかり

手を つなげ

ぐるっと

地球を

かかえちやえ



メモ

<コーディネーター プロフィール>

まきの あつし
牧野 厚志 さん 県教委事務局小中学校課義務教育主査

平成17年度より、中部教育局学校教育係指導主事、係長として、中部小・中学校の学校教育に関する指導やPTA研修会等での講演等の活動も行う。現在は、鳥取県教育委員会事務局小中学校課に勤務。

<シンポジスト プロフィール>

ながいし じゅんいち
長石 純一 さん

平成3年 鳥取大学医学部卒業、医学博士、小児科専門医。

国立小児病院内分泌代謝科に2年間留学。専門は、小児科内分泌、心身症。

現在、鳥取市立病院小児科部長、小児内分泌、小児肥満、小児の心身症（思春期外来）小児糖尿病を担当。

あぶらの としひろ
油野 利博 さん

昭和43年 鳥取大学教育学部助手。平成3年 鳥取大学教育学部教授。

鳥取大学附属幼稚園長、鳥取大学附属中学校長、鳥取大学附属学校部長を歴任。

平成23年3月、鳥取大学退職、名誉教授に。

地域におけるスポーツ指導者研修会や生涯学習研修会などの講演活動で活躍中。

主な文献・著書は「幼児期における運動能力の発達」「人見絹枝100年記念誌」など。

やべ としあき
矢部 敏昭 さん

平成元年 鳥取大学教育学部講師。平成10年 鳥取大学教育学部教授。

鳥取大学生涯教育総合センター長、鳥取大学附属学校部長等を経て現在、鳥取大学副学長。専門は、算数・数学教育。鳥取県内・京都・愛知など全国各地で算数・数学教育研究会での講演、指導助言で活躍中。主な著書は、「人間力を育てる新算数授業展開」「『一人学び』をめざす新しい算数の学習」など。

教育シンポジウムアンケートより

朗読について

- 朗読を相手に伝わるようにするのは、一音一音の発音をしっかりとすることからだと思う。声の出し方の指導も必要かと思った。
- 「朗読は、読むのではなく、伝えること」という言葉になるほどと思いました。これを手がかりにたくさんの方が考えられそうです。
- 日本語の良さは、敬語にあり。敬語には、日本人の「心」がある。敬語を話せる（使える）人間になろう。
- 朗読そのものを見直す機会となった。（生で聞いたからかも）自分の技量の足りなさも感じた。
- 読むというより相手に伝えたいという思いで読む。時間つぶしではなくしっかり選んで読みたいと思います。
- すてきな声で、物語に入り込んでしまった。大変有意義な時間でした。
- 素晴らしい朗読ありがとうございました。音読の良さをもっともっと広げていきたいと思いました。
- 子どもの時のことを思い出しました。（家族に聞いてもらったこと）
- 相手を意識して伝えることの大切さを改めて感じた。
- 「伝える」との言葉があってよかったです。
- 表情を作り、読むのではなく、伝えることが大切なのだと感じた。
- さすが！アナウンサーです。話に引き込まれました。テンポよく朗読されたなあと。ただ、一言あえて言うなら、「声の音」が同じなので、高と低をもっとつけてほしかったです。
- とてもよかったです。さすが、上手でした！！コツも教えていただき、（保育所で）実践してみたいと思いました。
- 朗読の合間にポイントを話していただき、これからの指導にも参考になりました。やはり、表情って大事だなあと思いました。
- 伝えることの大切さを感じた。言葉の力ってすごい。
- 子どもの音読について、アドバイスしたい。
- すばらしい朗読でした。情景が頭の中で浮かび、朗読の良さを感じさせてもらいました。
- 子どもが注目する読み方でよかった。

これから、自分にできること

- 基本的な生活習慣を子どもに働きかけることが大切であり、自分たち大人・親がしなければならぬことだと思いました。
- 健康な体作り、生きていける力。（嫌いなものは無理やり食べさせるわけではなく、好き

なものをいっぱい食べさせて大きくする。規則正しい生活。眠りの時に育つので、睡眠もしっかりさせ、早く寝かせる。朝早く起きるようにする。)

○自分が睡眠不足にならないよう生活をし、心も体も健康でいられるようにし、家族にも心配りができるようにしたいと思いました。

○ほめることを増やす。

○ほめること。幸せな人生を送るには、まず、他人の立場になる。

○子ども一人一人の努力や伸びをしっかりと見取ってほめることをもっと意識してやっていきたい。

○いろいろな体験をさせてあげたい。ほめることを大切にしたいと思います。朝決まった時間に置き、ご飯を食べ、夜は、暗くした部屋で眠る。

○学ぶことのプロセスのサポート。人と人のつながりの広がり。食、睡眠のバランスのとおり方。

○地域の人とのふれあいの機会を作る。音読をもっとしっかり聞く。

○生活のリズムを大切にすること。子どもの感動を育てること。話をしっかり聞くこと。

○生活習慣をもう一度見直してみたいと思いました。

○これからもたくさんほめてあげたいと思います。

○子どもに余裕を持つことは、親自身も余裕を持つこと！ということが一番印象に残りました。早寝早起きをさせるためにどうしても毎日がバタバタとしていてゆとりがないため、ほめることをしていないなあと反省しました。さっそく、今日から自分自身心に余裕を持ち、対話をしながら過ごしていきたいなあと思いました。あたりまえのことが当たり前に見える世の中に、できるところからしていこうと思いました。

○あたりまえのこと。毎日のサイクルを大切にしたい。

○子どもが小1になったところです。登校時間に合わせ、起床・就寝時間が早くなり、習慣づくこととても気持ちいいものだと感じています。毎日学校の様子を子どもから聞くのが楽しみです。音読も始まり、一緒に読むのも気持ちのいいものです。…こんな日々を続けていきたいと思います。

○子どものことをもっと見つめていこうと思います。これまでの見ているつもりでしたが、本当にそうかなあと、話を聞いて感じました「つもり」ではなく、しっかりとコミュニケーションをとっていきたいと思います。一緒にいろいろな経験を積み上げていきたいです。

○対話が大切なんだということを改めて学びました。実践していきたいです。

○ほめる。話を聞くこと。

○生活。リズム作り。

○子どもの対話。(目を見て)語り合うこと。習慣を作る。(お手伝い)多様な遊びをするように導くこと。自分に気持ちの余裕を持つこと。

○睡眠。時間を決め、夜は無理だが朝はいけるぞ。子どもの目を見て聞く。決めつけない。

双方向のやり取りを。習慣づけ。ほめる、仲間を大事にする。

○貴重なお話をたくさん聞かせていただきましたが、中でも印象的だったのが、①岡崎さんの「伝える」という話②長石先生のサイクルの大切さです。どちらも当たり前のようにだけど、考えてみると意外とできていないことなので、意識していきたいと思いました。

○コツコツ努力している子を大事にする。なぜ学ぶのかを伝えていくこと。あたりまえのことをあたりまえにしていくことの素晴らしさ、大切さを伝えていくこと。新しいことを知りながらわくわくドキドキする授業づくり。余裕のある生活と心。

○コツコツと努力する子をもっと褒めたい。

○対話を大事にする。(学校の子どもたち、自分の子ども、どちらも) ほめることを常に意識していこうと思いました。

○子どもたちの小さながんばりをしっかり認めていきたい。しっばいOK!そこから、「できる」「わかる」ための学びを子どもと一緒に作っていきたくと思います。

○いろいろな運動(体の動き)を子どもに体験させること。(上手下手という評価をするのではなく、子どものアイデアを大切にしながら、「やってみよう」「やれそう」という気持ちを大事にしてやる。

○子どもを褒めること。共感すること。それを積み重ねること。

○保護者の気持ちを受け止めながらも生活リズムの大切さを知らせ続ける。ことが私の務めではないかと思いました。私自身も生活リズム、朝の早起きを実践したいと思いました。

○先生方のお話(特に最後の矢部先生のお話)は、まさに声を大にして言いたかったことをすべて言ってくださり、改めて自分の子育てを見つめなおすきっかけをいただきました。同時に今ならまだもう少しだけ子どもたちの心が親と通えるようにできそうだと感じました。

○短時間の間にとっても素晴らしいお話を聞かせていただきました。それぞれの分野のお話をもっと聞きたいと思いました。北栄の空に夢を描ける子を育てたいと思います。

○地域の子どもをどのように育てるのか考えてみようと思う。

○コツコツと努力する子を褒める。正しいことを貫く子を褒める。知的な感動のある授業をめざしていく。人間関係、コミュニケーション能力が広がるよう努力していく。

○規則正しい生活。

○子どもたちへの声のかけ方。共感し合うことの大切さを日々心がけていきたい。

○子どもへの援助の仕方について具体的にお話しただけたり、それだけでなく大人としてどのような姿勢で子どもたちに向き合っていくのか考えさせられました。明日からに生かしていこうと思いました。

○子どもたちとの関係を築きながら、豊かな遊びを展開していきたいと思います。

○ほめることに配慮していきたいと思います。

○豊かな時代に生まれた子たちにしっかりと生きる力をつけたい。

○子どもたちと一緒に元気に過ごしたいです。元気をいただき感謝です。

○講演のすべてを实践できる力をつけたい。もう少し多くの人に聞いてほしいです。よいシンポジウムでした。

○子どもと向き合って、信頼して育てていこう。

○まず、やって見せるためには、自分の生活リズムから整える必要がある。

○大変学ぶことの多い内容だった。シンポジストの選定がナイスだったと思う。もっとゆっくり聞きたいくらいだった。自分が本日のシンポジウムで学んだこと感じたことを伝える。

○3人の先生の話で学んだこと。関係づくり、相手意識、サイクル。日々の営みで、子どもたちに伝えていきたい。

○子どもの話をよく聞く。対話を大切にする。

○子どもはなにか1つでもよいことを持っている。それを褒めるようにしよう。

○ほめること。7 (今もやっていますが) 対話！子どもの話をじっくりと聞くこと。

親の「余裕」が大切だと思いました。改めて、「睡眠」の大切さを感じました。

○子どもを信頼して認め、しっかりほめること。

○一人の人間として、あたりまえに生活し働くこと。

○規則的な生活の持続。(自分に必要な睡眠をとることができている。)

○体を動かして遊ぶことをもっと積極的にできるようにしていきたい。特に、あまり体を動かさない子に工夫して運動させたい。運動が楽しいと思えるようにしたい。子どもへの言葉かけを変える。(感性を育てていくように)

○できないことではなく、できることに目を向けていくこと。あたりまえの日常生活を維持していくこと。

○子どもと向き合って対話を大切にする。一人一人の子どもを褒める、認める。職員に今日の話伝え、子どもたちを信頼する職員でありたい。

○ほめて認めていく。「やってみよう」「やってみたい」と思える環境の工夫。保護者へも話して、保護者と保育所と両方で未来の子どもを育てていきたい。

○これだけお専門家をお呼びいただき、めったにない学びの機会となりました。専門家の話はさすが説得力があります。

北条小 学校 授業研究会等の予定

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
|---------|--------------------------|--|--|------------------------------------|---|--|---|
| 日時 | 5月12日(木) 2限(9:35から) | 5月18日(水) 5限(14:10から) | 6月8日(水) 5限(14:10から) | 9月14日(水) 2限(9:35から) | 10月26日(水) 5限(14:10から) | 11月9日(水) 5限(14:10から) | 12月7日(水) 5限(14:10から) |
| 研究会名 | 授業研究会・職員研修会 | 授業研究会 | 授業研究会 | 授業研究会 | 授業研究会 | 授業研究会 | 授業研究会 |
| 教科 | 自立 | 国語 | 道徳 | 自立 | 国語 | 道徳 | 国語 |
| 学年・組 | ひまわり・わかば学級 | 3年2組 | 1・2・3・4・5・6年 | ひまわり・わかば学級 | 2・4年 | 1・2・3・4・5・6年 | 1・6年 |
| 指導・助言者等 | | 島根大学 講師 富安 慎吾 先生 | 各学年指導助言者 計6名 | 県教委 藤田指導係長 中部教育委員会 中島指導主事 | 宮城教育大学 教授 相沢 秀夫 先生 | 各学年指導助言者 計6名 | 宮城教育大学 教授 相沢 秀夫 先生 島根大学 講師 富安 慎吾 先生 |
| 内容・テーマ等 | 特別支援教育 児童理解を深める 研修 | 教材名「えらんだ理由を話そう」 ～「話すこと・聞くこと」領域を中核とし、 各領域にわたる言語活動を工夫する ～ | なかまや地域のひとと 関わり合いながら、 よりよく生きようとする 北条っ子の育成 ～「伝え合う力」と 「かかわる力」を中核 として～ | 特別支援教育 児童理解を深める 研修 | 教材名：未定 ～「話すこと・聞くこと」 領域を中核とし、 各領域にわたる言語 活動を工夫する ～ | なかまや地域のひとと関 わり合いながら、よりよく 生きようとする北条っ子 の育成 ～「伝え合う力」と「かか わる力」を中核として～ | 教材名：未定 ～「話すこと・聞くこ と」領域を中核とし、 各領域にわたる言語 活動を工夫する ～ |
| 備考 | | | 中小研一斉研究会 | | | 中小研研究発表会 | |

大栄小 学校 授業研究会等の予定

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
|---------|----------------------------|--|--|--|--|--|--|
| 日時 | 5月20日(金) 15:30から | 6月27日(月) 14:10から | 9月20日(火) 14:10から | 10月26日(水) 14:10から | 11月16日(水) 14:10から | 1月25日(水) 14:10から | 2月15日(水) 14:10から |
| 研究会名 | 職員研修会 | 授業研究会 | 授業研究会 | 授業研究会 | 授業研究会 | 授業研究会 | 授業研究会 |
| 教科 | 算数 | 国語 | 算数 | 国語 | 算数 | 国語 | 算数 |
| 学年・組 | | 6年2組 | 5年2組 | 3年1組 | 2年3組 | 1年2組 | 4年2組 |
| 指導・助言者等 | 啓林館 池田和正氏 | 浜本純逸(元早稲田大学) | 愛知教育大学 飯島康之 | 浜本純逸(元早稲田大学) | 中部教育局指導主事 | 浜本純逸(元早稲田大学) | 中部教育局指導主事 |
| 内容・テーマ等 | 新教科書の作成、編集の方針と指導での活用方法について | 「言語活動」の充実を図り、思いや考えを豊かに表現し、伝え合う力を育てる～国語科と算数科を通して～ | 「言語活動」の充実を図り、思いや考えを豊かに表現し、伝え合う力を育てる～国語科と算数科を通して～ | 「言語活動」の充実を図り、思いや考えを豊かに表現し、伝え合う力を育てる～国語科と算数科を通して～ | 「言語活動」の充実を図り、思いや考えを豊かに表現し、伝え合う力を育てる～国語科と算数科を通して～ | 「言語活動」の充実を図り、思いや考えを豊かに表現し、伝え合う力を育てる～国語科と算数科を通して～ | 「言語活動」の充実を図り、思いや考えを豊かに表現し、伝え合う力を育てる～国語科と算数科を通して～ |
| 備考 | 中小研の算数部会でも同じ人呼んでいる(変更もある) | 町光アドバイザー招聘事業 | 町教委関連事業 | 町光アドバイザー招聘事業 | 中部教育局要請訪問 | 町光アドバイザー招聘事業 | 中部教育局要請訪問 |

北条中 学校 授業研究会等の予定

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---------|------------------------------|---|---|---|-------------------------------|
| 日時 | 6月21日(火)14:00～ | 5月下旬 | 8月中旬 | 10月下旬 | 12月7日(水) |
| 研究会名 | 小中合同授業研究会 (町まなび力アップ授業研究会) | 校内授業を見合う会 | 研究職員会(職員研修) | 校内授業を見合う会 | 校内研究会 |
| 教科 | 数学・英語他 | 各教科 | 未定 | 各教科 | 未定 |
| 学年・組 | 1年・2年・3年 | 1年・2年・3年 | / | 1年・2年・3年 | / |
| 指導・助言者等 | 愛知教育大学 飯島康之教授 | / | 未定 | / | 未定 |
| 内容・テーマ等 | 生徒の「学習意欲」を高め、確かな学力を身に付ける。 | 各教科の取り組みを全職員で共有し、さらなる授業改善に役立てる。 | 本校研究主題「生徒の学習意欲を高め、確かな学力を身につける。」に基づいて、職員の授業力及び教科力の研鑽を積む。 | 各教科の取り組みを全職員で共有し、さらなる授業改善に役立てる。 | 未定 |
| 備考 | 町まなび力アップ授業研究会も兼ねる | 本校で取り組んでいる「6つの指標」に基づく授業づくりを確認し、生徒への学び力アップへと繋げていく。 | | 5月に実施した「校内授業を見合う会」を踏まえて、本年度の取り組みを振り返り、反省点と課題を全職員で共有し取り組む。 | 光をそそぐプロジェクトを利用し、外部講師を呼ぶ予定である。 |

大栄中 学校 授業研究会等の予定

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---------|-----------------------------|-------------------|-----------------------------|---|---|
| 日時 | 6月中旬 | 10月中旬 | 11月中旬 | | |
| 研究会名 | 授業研究会 | 授業研究会 | 授業研究会 | | |
| 教科 | 社会科 | 数学科 | 国語科 | | |
| 学年・組 | 1年 | 未定 | 未定 | | |
| 指導・助言者等 | 兵庫教育大学 准教授 井澤信三 中部教育局 | 愛知教育大学 教授 飯島康之 | 兵庫教育大学 准教授 井澤信三 中部教育局 | | |
| 内容・テーマ等 | 通常学級における特別支援教育の視点を取り入れた授業 | 学びカアップ | 通常学級における特別支援教育の視点を取り入れた授業 | | |
| 備考 | ・中部教育局要請訪問 ・「光をそそぐ交付金事業」 | ・学びカアップ事業 | 「光をそそぐ交付金事業」 | | |

「小学校、中学校、高等学校キャリア教育推進の手引き」

サイトマップ English



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY/JAPAN



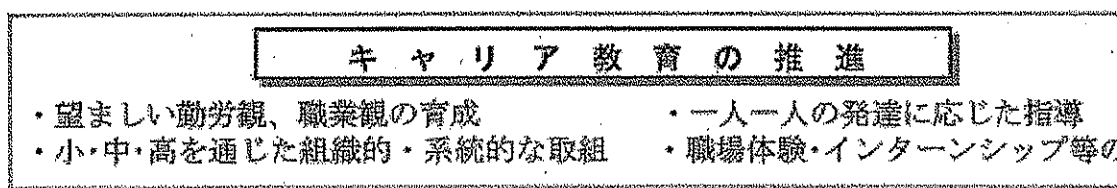
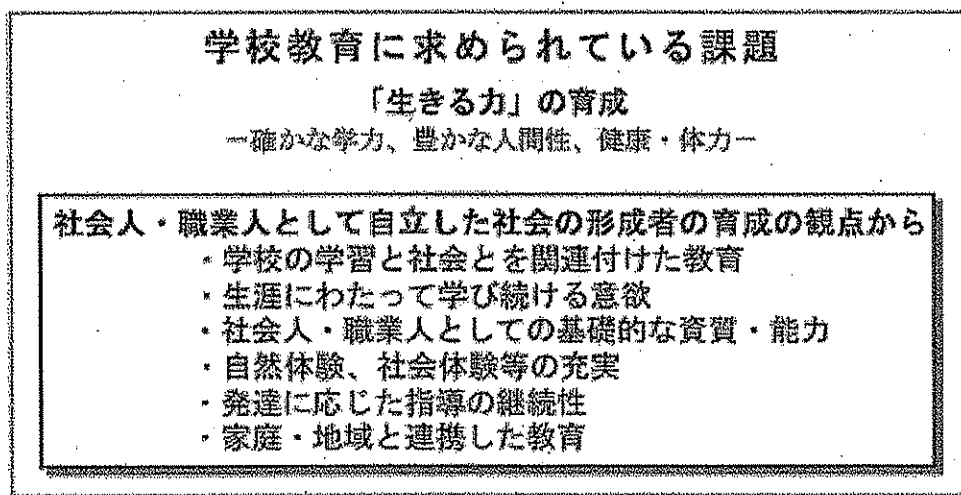
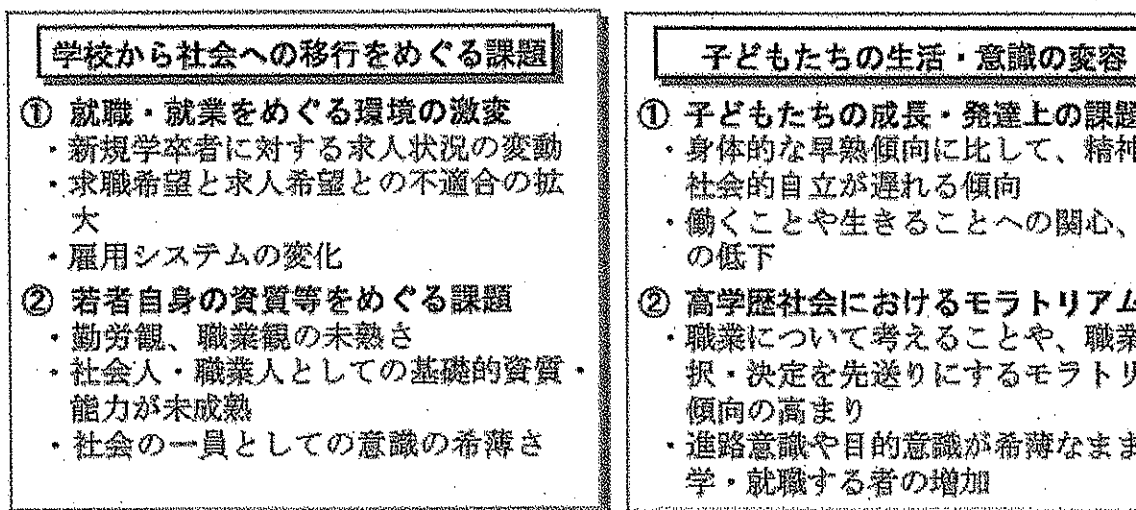
トップ > 教育 > 小・中・高校教育に関すること > 進路指導・キャリア教育について > 小学校・中学校・高等学校 キャリア教育推進の手引き - 児童生徒一人一人の勤労観、職業観を育てるために - > 第1章 キャリア教育の意義

第1章 キャリア教育の意義

1 キャリア教育の必要性

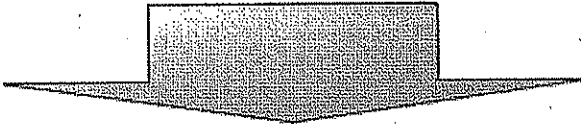
今日、少子高齢化社会の到来、産業・経済の構造的変化、雇用の多様化・流動化等が進む中、就職・進学を問わず、子どもたちの進路をめぐる環境は大きく変化している。また、教育を取り巻く環境も大きく変化してきており、これら社会と教育の動向から若者をめぐる様々な課題が浮かび上がっている。一方、若者の勤労観、職業観の未成熟や、社会人・職業人としての基礎的・基本的な資質・能力の不十分さなどについても各方面から指摘されている。

このような中で、子どもたちが「生きる力」を身に付け、社会の激しい変化に流されることなく、それぞれが直面するであろう様々な課題に柔軟にかつたくましく対応し、社会人、職業人として自立していくことができるようにする教育の推進が強く求められている。



小学校・中学校・高等学校におけるキャリア教育

社会的自立・職業的自立に向けて
一児童生徒一人一人の勤労観、職業観の育成一



キャリア教育の推進

- ・望ましい勤労観、職業観の育成
- ・一人一人の発達に応じた指導
- ・小・中・高を通じた組織的・系統的な取組
- ・職場体験・インターンシップ等の充実

能力
能力

人間関係形成能力

他者の個性を尊重し、自らの個性を
発揮しながら、様々な人とのコミュ
ニケーションを図り、協力・共同し
てものごとに取り組む

能力
能力

将来設計能力

夢や希望を持って将来の生き方や生
活を考え、社会の現実を踏まえなが
ら、前向きに自己の将来を設計する

学ぶこと 生きること 働くこと

情報活用能力

学ぶこと・働くことの意義や役割
及びその多様性を理解し、幅広く
情報を活用して、自己の進路や生
き方の選択に生かす

意思決定能力

自らの意志と責任でよりよい選択・
決定を行うとともに、その過程での
課題や葛藤に積極的に取り組み克服
する

※ 上記4つの能力については、「職業観・勤労観を育む学習プログラムの枠組み(例)」(平成14年11月国立教育政策研究所生徒指導研究センター)における能力を例示した。

2 キャリア教育の定義

(1) キャリア教育とは

「キャリア概念」に基づいて、「児童生徒一人一人のキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲・態度や能力を育てる教育」。端的には、「児童生徒一人一人の勤労観、職業観を育てる教育」(キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議報告書(平成16年1月28日))

また、キャリア教育について、平成11年12月の中央教育審議会答申「初等中等教育と高等教育との接続の改善について」では、「望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身に付けさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てる教育」としているが、本手引においては上記の調査研究協力者会議 報告書の定義を使用した。

今日の若者の様々な課題を解決していくためには、児童生徒一人一人が自らの責任で、キャリアを選択・決定していくことができるよう、必要な能力・態度を身に付けていく教育が強く求められている。

とりわけ、初等中等教育段階では、子どもたちの発達段階やそれぞれの時期に応じた課題を達成していくためにも、一人一人の「キャリア発達」を支援していくことが重要となる。ここでいう「キャリア」、「キャリア発達」については、「キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議報告書(平成16年1月28日)」(以後、「キャリア教育報告書」とする)等から、本手引では次のようにまとめた。

(2) キャリアとは

「個々人が生涯にわたって遂行する様々な立場や役割の連鎖及びその過程における自己と働くこととの関係付けや価値付けの累積」

「キャリア」とは、一般に生涯にわたる経歴、専門的スキルを要する職業についていることなどのほか、解釈、意味付けは多様であるが、その中にも共通する概念と意味がある。それは、「キャリア」が、「個人」と「働くこと」との関係の上に成立する概念であり、個人から切り離して考えられないということである。また、「働くこと」については、職業生活以外にも家事や学校での係活動、あるいは、ボランティア活動などの多様な活動があることなどから、個人がその学校生活、職業生活、家庭生活、市民生活等のすべての生活の中で経験する様々な立場や役割を遂行する活動として幅広くとらえる必要がある。

(3)キャリア発達とは

発達とは生涯にわたる変化の過程であり、人が環境に適応する能力を獲得していく過程である。その中で、キャリア発達とは、自己の知的、身体的、情緒的、社会的な特徴を一人一人の生き方として統合していく過程である。

具体的には、過去、現在、将来の自分を考えて、社会の中で果たす役割や生き方を展望し、実現することがキャリア発達の過程である。D. E. スーパーは、この過程を生涯における役割の分化と統合の過程として示している。(P6コラム参照)

自分の過去・現在・将来を見据え、社会との関係の中で自分らしい生き方を展望し実現していくことは、自己の確立として青年期の発達課題とされてきたが、生涯にわたっての課題ととらえるべきである。人は、生涯のそれぞれの時期において、社会との相互関係の中で自分らしく生きようとする。そして、各時期にふさわしい個別的なキャリア発達の課題を達成していくことが、生涯を通じてのキャリア発達となる。キャリア教育は、そのような一人一人のキャリア発達を支援するものでなければならない。

キャリア発達の中心は、社会の一員として自立的に自己の人生を方向付けることであるが、一人一人のキャリア発達は、知的・社会的発達とともに促進される。例えば、小学生は小学生にふさわしいものの見方や行動の仕方に基づいて、自己と社会をとらえ、自分を方向付けようとする。その意味で、キャリア発達の理解には、まず一人一人の能力や態度、資質は、段階を追って育成されるということを理解しておく必要がある。そのために、国立教育政策研究所生徒指導研究センターでは「職業観・勤労観を育む学習プログラムの枠組み(例)」を開発し、児童生徒が将来自立した社会人・職業人として生きていくために必要な能力や態度、資質として、「人間関係形成能力」、「情報活用能力」、「意思決定能力」、「将来設計能力」の「4つの能力」を、児童生徒の成長の各時期において身に付けることが期待される能力・態度などとして例示している。

次の表は、その「4つの能力」の説明と、さらに、それぞれを2つの下位能力に分けた例を示したものである。

表 キャリア発達にかかわる諸能力(例)

| 領域 | 領域説明 | 能力説明 |
|----------|---|---|
| 人間関係形成能力 | 他者の個性を尊重し、自己の個性を発揮しながら、様々な人々とコミュニケーションを図り、協力・共同してものごとに取り組む。 | <p>【自他の理解能力】 自己理解を深め、他者の多様な個性を理解し、互いに認め合うことを大切にして行動していく能力</p> <p>【コミュニケーション能力】 多様な集団・組織の中で、コミュニケーションや豊かな人間関係を築きながら、自己の成長を果たしていく能力</p> |

| | | |
|--------|---|--|
| 情報活用能力 | 学ぶこと・働くことの意義や役割及びその多様性を理解し、幅広く情報を活用して、自己の進路や生き方の選択に生かす。 | 【情報収集・探索能力】 進路や職業等に関する様々な情報を収集・探索するとともに、必要な情報を選択・活用し、自己の進路や生き方を考えていく能力 |
| | | 【職業理解能力】 様々な体験等を通して、学校で学ぶことと社会・職業生活との関連や、今しなければならないことなどを理解していく能力 |
| 将来設計能力 | 夢や希望を持って将来の生き方や生活を考え、社会の現実を踏まえながら、前向きに自己の将来を設計する。 | 【役割把握・認識能力】 生活・仕事上の多様な役割や意義及びその関連等を理解し、自己の果たすべき役割等についての認識を深めていく能力 |
| | | 【計画実行能力】 目標とすべき将来の生き方や進路を考え、それを実現するための進路計画を立て、実際の選択行動等で実行していく能力 |
| 意思決定能力 | 自らの意志と責任でよりよい選択・決定を行うとともに、その過程での課題や葛藤に積極的に取り組み克服する。 | 【選択能力】 様々な選択肢について比較検討したり、葛藤を克服したりして、主体的に判断し、自らにふさわしい選択・決定を行っていく能力 |
| | | 【課題解決能力】 意思決定に伴う責任を受け入れ、選択結果に適応するとともに、希望する進路の実現に向け、自ら課題を設定してその解決に取り組む能力 |

(国立教育政策研究所生徒指導研究センター「児童生徒の職業観・勤労観を育む教育の推進について」から一部改訂)

3 キャリア教育の意義

子どもたちが「生きる力」を身に付け、社会の激しい変化に流されることなく、それぞれが直面するであろう様々な課題に柔軟にかつたくましく対応し、社会人・職業人として自立していくことができるようにする教育の推進が強く求められている。

平成8年の「21世紀を展望した我が国の教育の在り方について(中央教育審議会)第一次答申」において、学校教育の基盤をなすものとして、確かな学力、豊かな人間性、健康・体力など、「生きる力」が提唱され、その育成が強く求められてきた。「生きる力」を育成するという基本的な考え方に立ちつつ、学校教育に求められているのは、「学ぶこと」と「働くこと」を関係付けながら、子どもたちに「生きること」の尊さを実感させる教育であり、社会的自立・職業的自立に向けた教育である。そのためには、児童生徒が社会の一員としての自己の存在を理解し、社会での職業や勤労及び学校での学習や諸活動に積極的にかかわる意欲・態度を持つよう指導・援助することが大切となる。

学校教育においてキャリア教育を推進していくためには、その意義を明確にし、学校の教育活動全体を通して、組織的、系統的に取り組んでいくことが重要である。また、一人一人のキャリア発達を促していく視点から、今までの教育を見直していくことが求められている。「キャリア教育報告書」では、各学校がキャリア教育に取り組む意義として、次の3点をあげている。各学校においてはこの意義を十分に踏まえ、学校全体として取り組めるよう工夫し、キャリア教育を進めていく必要がある。

各学校におけるキャリア教育に取り組む意義

(1) 教育改革の理念と方向性を示すキャリア教育

キャリア教育は、一人一人のキャリア発達や個としての自立を促す視点から、従来の教育の在り方を幅広く見直し、改革していくための理念と方向性を示すものである。

(2) 子どもたちの「発達」を支援するキャリア教育

キャリア教育は、キャリアが子どもたちの発達段階やその発達課題の達成と深くかわりながら段階を追って発達していくことを踏まえ、子どもたちの全人的な成長・発達を促す視点に立った取組を積極的に進めることである。

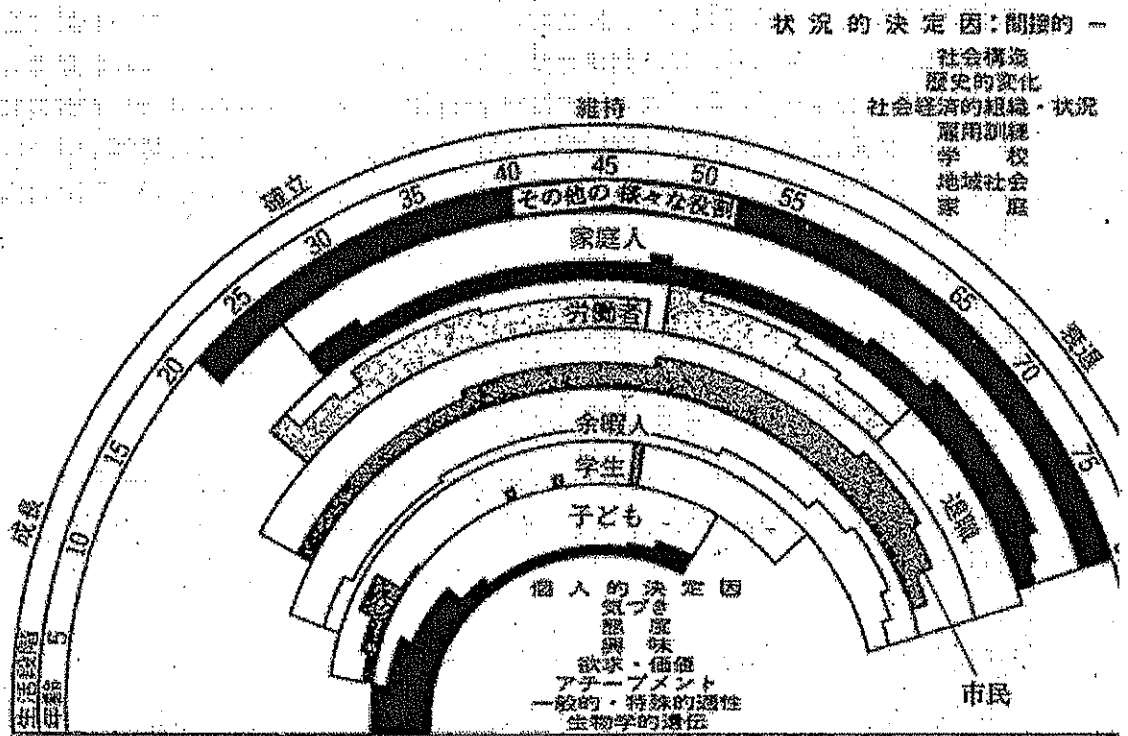
(3) 教育課程の改善を促すキャリア教育

キャリア教育は、子どもたちのキャリア発達を支援する観点に立って、各領域の関連する諸活動を体系化し計画的、組織的に実施することができるよう、各学校が教育課程編成の在り方を見直していくことである。

「キャリア発達」についてもう少し詳しく……

人は誕生から乳幼児期、青年期、成人期、そして老年期を通して、その時期にふさわしい適応能力、つまり環境に効果的あるいは有能に相互交渉する能力や態度を形成していきます。その中で、社会との相互関係を保ちつつ自分らしい生き方を展望し、実現していく過程がキャリア発達です。社会との相互関係を保つとは、言い換えれば、社会における自己の立場に応じた役割を果たすということです。人は生涯の中で、様々な役割をすべて同じように果たすのではなく、その時々の方にとっての重要性や意味に応じて果たしていこうとします。それが「自分らしい生き方」です。また、社会における自己の立場に応じた役割を果たすことを通して「自分と働くこと」との関係付けや価値観(キャリア)が形成されます。D. E. スーパーは、この過程を生涯における役割(ライフ・ロール)の分化と統合の過程として示しています。

ライフ・キャリアの虹



—ある男性のライフ・キャリアー— [22歳に大学を卒業し、すぐに就職、26歳で結婚して、27歳で1児のとなる。47歳の時に1年間社外研修。57歳で両親を失い、67歳で退職、78歳の時妻を失い81歳で生涯を終え] D.E. スーパーはこのようなライフ・キャリアを概念図化した。

出典 中学校・高等学校進路指導資料第1分冊(平成4年文部省)

「自分に期待される複数の役割を統合して自分らしい生き方を展望し実現していく」ということを、上図の「ライフ・キャリアの虹」に即して見ていくとどうなるでしょうか。図を見ると、たとえば15歳の時点での役割は「子ども」と「学生」と「余暇人」です(それ以外の役割もあり得ます)が、重要なのは、その「子ども」、「学生」、「余暇人」の

内容です。「子ども」として期待される役割の内容、「学生」として期待される内容、「余暇人」としての遊びや趣味の活動、それらにいかに関与してきたのか。それを通して自分らしさがいかに認識され、それに基づいて将来の役割(進路)をいかに選択し、取り組んでいこうとするのが、この時点でのキャリア発達の姿です。つまり、この時点でいかなる「キャリア」が形成され、いかなるキャリアが展望されているかがとらえられるのです。このようなキャリア発達の課題を達成していくためには社会認識と自己認識を結合させて自己を方向付けることが必要です。そのための能力・態度として、「人間関係形成能力」、「情報活用能力」、「自己決定能力」、「将来設計能力」など、これらの能力・態度を発達の時期に応じて身に付けることが考えられます。

次のページへ

お知らせ 政策について [文部科学省ホームページトップへ](#) [ページの先頭に戻る](#)
白書・統計・出版物 申請・手続き 文部科学省について 教育 科学技術・学術 スポーツ 文化
ご意見・お問い合わせ プライバシーポリシー [リンク・著作権について](#) [アクセシビリティへの対応について](#)

文部科学省 〒100-8959 東京都千代田区霞が関三丁目2番2号
電話番号:03-5253-4111(代表) 050-3772-4111 (IP 電話代表) 案内図

Copyright (C) Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology

(3) キャリア教育

北条小学校

キャリア教育全体計画

| | |
|---------|--|
| 学校の教育目標 | 人間性豊かで心身ともにたくましい子どもの育成 |
| めざす子ども像 | <ul style="list-style-type: none"> ・進んで学ぶ子 ・思いやりのある子 ・最後までやり抜く子 |

| | |
|----------|--|
| 子どもたちの実態 | <ul style="list-style-type: none"> ・明るく素直。 ・人前での自己表現やや苦手である。 ・教師の願い ・基礎基本を身につける。 ・自己表現力を培う。 |
|----------|--|

| | |
|-----------|--|
| キャリア教育の目標 | よりよい人間関係を築きながら、自分や友のよさや個性に気づき、夢と希望のある生活や将来をつくりだしていこうという意欲や態度を育成する。 |
|-----------|--|

| | 1, 2年 目標 | 3, 4年 目標 | 5, 6年 目標 |
|----------|---|--|--|
| 人間関係形成能力 | <ul style="list-style-type: none"> ○みんなと助け合い、仲良くする。 ・友だちと仲良くし助け合う。 ・お世話になった人に感謝する。 ・大きな声であいさつや返事をする。 ・自分が思っていることをはっきり言う。 | <ul style="list-style-type: none"> ○「働く」ことを知り、「働く人」から学ぶ。 ・自分や友だちの良いところを見つける。 ・自分の生活を支えている人に感謝する。 ・友だちの気持ちや考えを理解しようとする。 ・自分の意見を分かりやすく表現する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○将来に向けて、夢や希望を持つ。 ・話し合いに積極的に参加し、自分と異なる意見も理解しようとする。 ・なかよし班など異年齢集団の活動に進んで参加し、役割と責任を果たそうとする。 |
| 情報活用能力 | <ul style="list-style-type: none"> ・身近で働く人々の様子が分かり、興味や関心を持つ。 ・係や当番の活動に取り組み、それらの大切さが分かる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな職業や生き方が分かる。 ・係や当番活動に積極的に関わる。 ・働くことの楽しさが分かる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・身近な産業・職業の様子が分かる。 ・自分に必要な情報を探す。 ・親や地域の人々との関わりの中で働くことの大切さや苦勞が分かる。 |
| 将来設計能力 | <ul style="list-style-type: none"> ・家の手伝いやわりあてられた仕事・役割の必要性が分かる。 ・決められた時間やきまりを守ろうとする。 ・作業の準備やかたづけをする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・互いの役割や役割分担の必要性が分かる。 ・日常の生活や学習と将来の生き方との関係に気づく。 ・計画作りの必要性に気づき、作業の手順が分かる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・社会生活にはいろいろな役割や職業があることやその大切さが分かる。 ・憧れとする職業を持ち、今しなければならぬことを考える。 |
| 意志決定能力 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の好きなもの、大切なものを持つ。 ・学校でして良いこと悪いことがあることが分かる。 ・自分のことは自分で行おうとする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分のやりたいこと、よいと思うことなどを考え、進んで取り組む。 ・自分の仕事に責任を持ち、最後までやり通そうとする。 ・自分の力で課題を解決しようとする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・係活動などで自分のやりたい仕事を選ぶ。 ・自分の仕事に責任を持ち、最後までやり通そうとする。 ・将来の夢や希望を持ち、実現を目指して努力しようとする。 |
| 具体的な活動 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の商店の見学 ・家庭でのお手伝い ・栽培活動 ・幼稚園・保育園児との交流 ・中学校との交流 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域・身近な人々の職業調べ ・商店・工場の見学 ・栽培活動 ・地域の産業の体験（ぶどう） ・地域のゴミ拾い（4年） ・中学校との交流 | <ul style="list-style-type: none"> ・職場・工場の見学 ・社会人を招聘し、体験を聞く。 ・地域の産業の体験（LED） ・幼稚園・保育園児・高齢者とのふれあいや交流 ・中学校との交流 |

| 各教科 | 道徳 | 特別活動 | 総合的な学習の時間 | その他 |
|---|--|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・すべての教科において自分を見つめ、自己の生き方につながる学習の充実を図る。 ・意欲的に学習する態度を育てる。 ・学習目標を持たせ、主体的・計画的に取り組む態度を育てる。 ・基礎的・基本的な学習内容の定着を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・児童の内面を大切に、心に響く道徳の学習をおこなう。 ・自己を見つめ、よりよく生きようとする心を育てる。 ・働くことの大切さを理解し、公共のために役立つことができる力を育てる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学級活動を通して、友の良さを見つけ、望ましい人間関係の育成を図る。 ・なかよし班活動によるそうじや、児童会（委員会活動）を通して、相手思いやる心や責任を果たし、協力しようとする態度を育てる。 ・学級活動、児童会活動、学校行事を通して、自主性・社会性・自己の伸長を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々への聞き取りやゲストティーチャー招聘による学習により、地域の人々の生き方に学ぶ態度を育てる。 ・問題解決的な学習や体験的な学習を通して、自己のいきかかたを考えたようとする態度を育てる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣を身につけられるよう、保護者との連携を図る。 ・保護者、地域、保育園、幼稚園、中学校との連携を図る。 |

平成23年度 キャリア教育全体計画

北栄町立大栄小学校

学校教育目標

黒ぼくの大地にたくましく生きる子どもの育成

児童の実態

- ・素直で純朴な児童が多く、物事に誠実に取り組む。
- ・運動にがんばり、あいさつが良くできる。
- ・主体性や、コミュニケーション力が課題。
- ・学力の個人差、身につけた知識技能の活用が課題。

保護者・地域の願い

- ・元気で生き生きとした学校生活
- ・正しい判断力
- ・豊かな人間性・社会性の育成
- ・主体的に物事に取り組む子
- ・基礎学力の確実な定着
- ・可能性の発揮

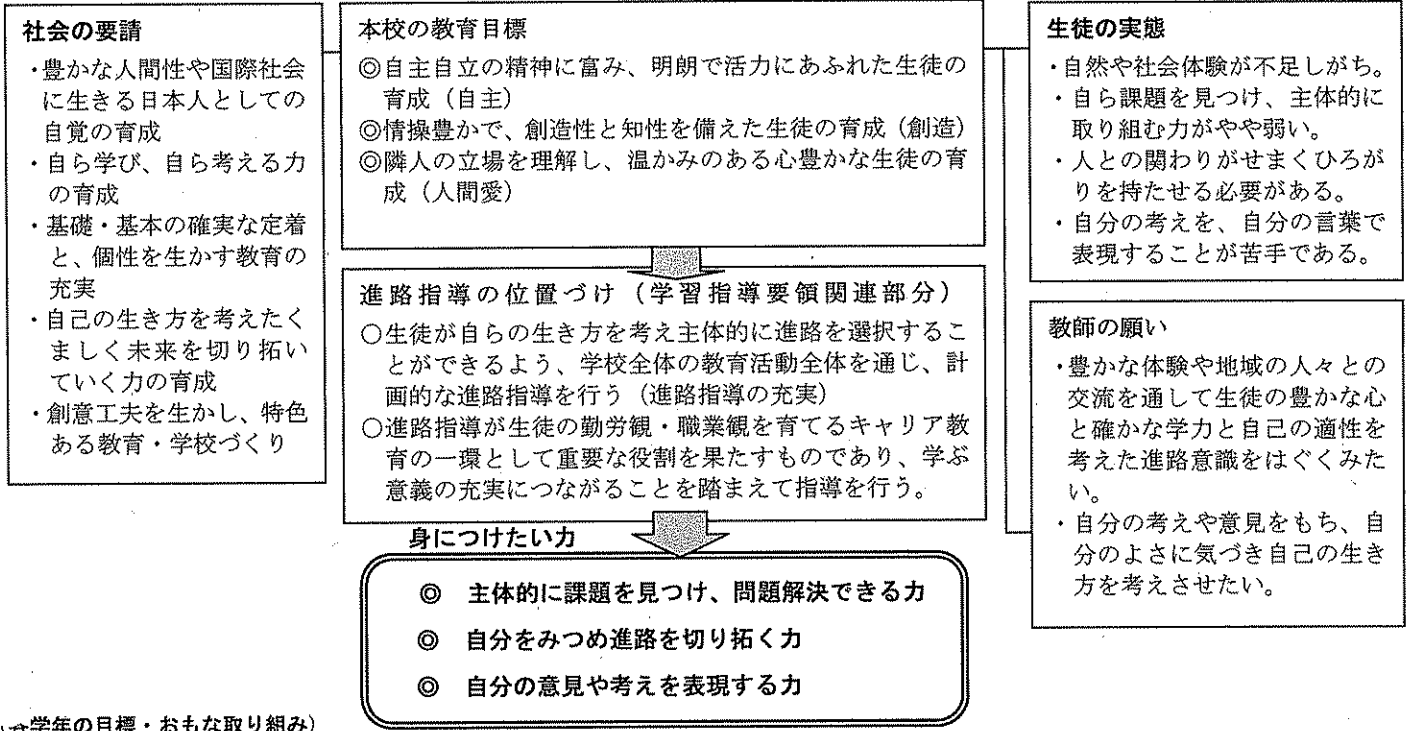
キャリア教育の目標

- お互いに認め合うことを大切にしながら、コミュニケーション能力を高め、よりよい人間関係を築こうとする態度を育てる。
- 学ぶことや働くことの大切さを知り、様々な仕事について調べ、まとめる能力を育てる
- 将来の夢や希望をふくらませながら、今しなければならぬことを考え行動しようとする態度を育てる。
- 自分の意志と責任でなすべきことを決定し、その過程で生じる問題を解決しようとする態度を育てる。

キャリア教育のめざす児童像

豊かな人間関係の中で、将来の夢や希望を抱き、その実現に向けて努力する児童

| 能力・領域 | 身につけさせたい力 | 育成したい能力や態度(関連教科、領域等) | | | | | |
|----------|-------------|--------------------------------|----|--|----|---|----|
| | | 低学年 | | 中学年 | | 高学年 | |
| | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 |
| 人間関係能力育成 | 人と関わる力 | あいさつや返事がはっきりできる。 | | 自分の考えや気持ちを相手にはっきりと言ったり、友達の考えをしっかりと聞いたりできる。 | | 相手の立場に立って意見を聞いたり、考えたりすることができる。 | |
| | | 友達と一緒に楽しく活動できる。 | | 自分の良いところや友達の良いところを見つけ、励まし合うことができる。 | | 自分の役割を明確にして、協力し合って活動ができる。 | |
| 情報活用能力 | 求めて表現する力 | 身近で働く人々の様子がわかり、興味や関心を持つことができる。 | | いろいろな職業や生き方があることがわかる。 | | 学んだり体験したりしたこと、生活と職業の関連について考えることができる。 | |
| | | 係や当番活動に取り組み、その大切さがわかる。 | | 係や当番活動に積極的に取り組み、働くことの楽しさがわかる。 | | 見学や話を聞くなどして、働くことの苦労や大切さがわかる。 | |
| 将来設計能力 | 自分の生き方を考える力 | 身の回りにはいろいろな役割があることがわかる。 | | 家の手伝いや割り当てられた仕事・役割の必要性がわかる。 | | 家や学校、地域で与えられた役割を受け持ち、責任を持って果たそうとする。 | |
| | | 将来の夢や希望を持ち、好きな職業を言うことができる。 | | 将来のことを考える大切さがわかり、こうありたいという自分の願いや思いを持つことができる。 | | 日常生活と将来の生き方との関係に気づき、今しなければいけないことを考えることができる。 | |
| 意志決定能力 | 課題を見つけ解決する力 | 自分の好きなことと嫌いなことを区別することができる。 | | 係活動などで、自分がやりたいことを選ぶことができる。 | | 係活動などで、やりたいことや良いと思うことを考え、自分で選択したり決定したりできる。 | |
| | | 自分のことは自分で言おうとする。 | | 自分の考えを持ち、進んで自分のことは自分でしようとする。 | | 生活や学習上での課題を見つけ、自分の力で解決しようとする。 | |



(各学年の目標・おもな取り組み)

| | 目 標 | 体験を中心とした活動 | きずな (小中連携事業) | 進 路 |
|-------------|--|---|--|---|
| 1 学 年 | 自己の個性や適性を理解するとともに、将来の進路に対する関心を高め、進んで自己の進路を計画しようとする態度を養う。 | 「つながり」 ・養護学校との交流、地域の方からGSとして話を聞く中で、自分を見つめ、人との関わりを大切にすることを育てる。 ・船上山研修の取り組み | (小2との交流活動) 自分のよさに気づくとともに他者の様々な個性を尊重し、互いに認め合いながらよりよい生活をしようとする力を養う。 | 「職業調べ・働く人に学ぶ」 さまざまな職業を自分たちで調べ、また、実際に社会人の方から話を聞く中で進路を自分で切り拓く力を身につける。」 |
| 2 学 年 | 自己理解をいっそう深め、上級学校や職業について体験を通して理解を図りながら、進路希望を実現しようとする態度を養う。 | ・「ワクワク北条」 職場体験学習をもとに、自ら課題を見出し、追及させる学習活動を通して、自己の良さを発見し、自己の生き方を考えることができる資質や能力を育てる。 | (小3との交流活動) 様々な場面や状況に応じて、自分の考えや判断を適切に伝えたり、相手の考えを理解しながら望ましい人間関係を構築する力を養う。※福祉体験等 | 「上級学校を調べる」 上級学校を調べる活動を通して、情報収集能力、編集力、表現する力を養う。 ・高校生の話を聞く。 |
| 3 学 年 | 自己の特性を見つめさせ、また希望する進路の情報を確かめて、自分にふさわしい職業や学校を選択するとともに、その進路に向かって自分を向上させようとする態度や心情を養う。 | ・修学旅行の取り組み 企業訪問の取り組みを通して、様々な職業の方々にインタビューを行い、見聞を広めることで進路選択に生かす。 | (小4との交流活動) 音読会や中学校案内を通して、豊かな人間性を培い、的確なコミュニケーション能力を身につける。 | ・企業訪問 企業訪問の企画・運営を通して、主体的に課題を見つけ見聞を広めることで、進路選択に生かす。 |

北条小学校 ⇄ **連携** ⇄ **地域との連携 (地域の機関・各種企業など)**

(各教科・領域との関連)

| 領域 | 教 科 | 道 徳 | 総合的な学習 | 特別活動 |
|--------|--|---|---|---|
| 人間形成能力 | 自分の良さや個性が分かり、他者の良さや感情を理解し尊重する。 | 人間関係の大切さを理解し、コミュニケーションスキルの基礎を習得する。 | 他者に配慮しながら、積極的に人間関係を築こうとする。 | リーダーとフォロワーの立場を理解し、チームを組んで互いに支え合いながら仕事をする。 |
| 情報活用能力 | 生き方や進路に関する情報を、様々なメディアを通じて、調査・収集・整理し活用する。 | 将来の職業生活との関連の中で、今の学習の必要性や大切さを理解する。 | 体験等を通して、勤労の意義や働く人々の様々な思いが分かる。 | 上級学校・学科等の種類や特徴及び職業に求められる資格や学習歴の概略が分かる。 |
| 将来設計能力 | 将来の進路希望に基づいて当面の計画を立て、その達成に向けて努力する。 | 将来の夢や職業を思い描き、自分にふさわしい職業や仕事への関心・意欲を高める。 | 自己の役割やその進め方、よりよい集団活動のための役割分担やその方法等が分かる。 | 進路計画を立てる意義や方法を理解し、自分の目指すべき将来を暫定的に計画する。 |
| 意思決定能力 | 課題に積極的に取り組み、主体的に解決していこうとする。 | よりよい生活や学習、進路や生き方等を目指して自ら課題を見出していくことの大切さを理解する。 | 自己の個性や興味・関心等に基づいて、よりよい選択をしようとする。 | 選択の意味や判断・決定の過程、結果には責任が伴うことなどを理解する。 |

●本校教育目標

- (1) 自主自立の精神に富み、明朗で活力にあふれた生徒の育成（自主）
- (2) 情操豊かで、創造性と知性を備えた生徒の育成（創造）
- (3) 隣人の立場を理解し、温かみのある心豊かな生徒の育成（人間愛）

●進路指導目標

- (1) 生徒一人ひとりの個性の伸長を図り、将来に対する夢や希望を持ち、目標に向かって努力する生徒を育成する。
- (2) 成就感、達成感を味わわせ学校生活への意欲の向上を図り、自らが進路選択できる力を養う。

●学年別指導目標

- 1年 自己の個性や適性を理解するとともに、将来の進路に対する関心を高め、進んで自己の進路を計画しようとする態度を養う。
- 2年 自己理解をいっそう深め、上級学校や職業について体験を通して理解を図りながら、進路希望を実現しようとする態度を養う。
- 3年 自己の特性を見つめさせ、また希望する進路の情報を確かめて、自分にふさわしい職業や学校を選択するとともに、その進路に向かって自分を向上させようとする態度や心情を養う。

●各領域等における指導内容

| 領域 | 教科 | 道徳 | 特別活動 | 総合的な学習 | その他 |
|--------|--|---|---|---|--------------------------------------|
| 人間形成能力 | 自分の良さや個性が分かり、他者の良さや感情を理解し尊重する。 | 人間関係の大切さを理解し、コミュニケーションスキルの基礎を習得する。 | リーダーとフォロワーの立場を理解し、チームを組んで互いに支え合いながら仕事をする。 | 他者に配慮しながら、積極的に人間関係を築こうとする。 | 自分の言動が相手や他者に及ぼす影響が分かり、自分の悩みを話せる人を持つ。 |
| 情報活用能力 | 生き方や進路に関する情報を、様々なメディアを通じて、調査・収集・整理し活用する。 | 将来の職業生活との関連の中で、今の学習の必要性や大切さを理解する。 | 上級学校・学科等の種類や特徴及び職業に求められる資格や学習暦の概略が分かる。 | 体験等を通して、勤労の意義や働く人々の様々な思いが分かる。 | 産業や経済等の変化に伴う職業や仕事のあらましを理解する。 |
| 将来設計能力 | 将来の進路希望に基づいて当面の計画を立て、その達成に向けて努力する。 | 将来の夢や職業を思い描き、自分にふさわしい職業や仕事への関心・意欲を高める。 | 進路計画を立てる意義や方法を理解し、自分の目指すべき将来を暫定的に計画する。 | 自己の役割やその進め方、よりよい集団活動のための役割分担やその方法等が分かる。 | 日常の生活や学習と将来の生き方との関係を理解する。 |
| 意思決定能力 | 課題に積極的に取り組み、主体的に解決しようとする。 | よりよい生活や学習、進路や生き方等を目指して自ら課題を見出していくことの大切さを理解する。 | 選択の意味や判断・決定の過程、結果には責任が伴うことなどを理解する。 | 自己の個性や興味・関心等に基づいて、よりよい選択をしようとする。 | 教師や保護者と相談しながら、当面の進路を選択し、その結果を受け入れる。 |

- ・人間関係形成能力……………他者の個性を尊重し、自己の個性を發揮しながら、様々な人々とコミュニケーションを図り、協力共同してものごとに取り組む。
- ・情報活用能力……………学ぶこと・働くことの意義や役割及びその多様性を理解し、幅広く情報を活用して、自己の進路や生き方の選択に生かす。
- ・将来設計能力……………夢や希望を持って将来の生き方や生活を考え、社会の現実を踏まえながら、前向きに自己の将来を設計する。
- ・意思決定能力……………自らの意思と責任でよりよい選択・決定を行うとともに、その過程での課題や葛藤に積極的に取り組み克服する。

平成23年度 第1学年キャリア教育計画(案)

●進路指導目標

- (1) 生徒一人ひとりの個性の伸長を図り、将来に対する夢や希望を持ち、目標に向かって努力する生徒を育成する。
- (2) 成就感、達成感を味わわせ学校生活への意欲の向上を図り、自らが進路選択できる力を養う。

●第1学年別指導目標

自己の個性や適性を理解するとともに、将来の進路に対する関心を高め、進んで自己の進路を計画しようとする態度を養う。

●第1学年 進路指導年間計画

| 月 | 題材 | 指導内容 | 指導のねらい |
|----|----------------------------------|--|--|
| 4 | ○中学校生活の出発 ○中学校での学習 | ○中学校生活のあらまし (船上山宿泊訓練) ○授業の受け方、家庭学習の仕方 | ○3年間を見通した中学校生活のあらましを理解させ、目標を持たせる。 ○中学校での学習について理解し、正しい授業規律や学習態度を身につけさせる。 |
| 5 | ○学習の心がまえ ○高齢者との交流 養護学校との交流 | ○学習方法の工夫・学習計画 (単元テストへ向けて) ○高齢者の方々や養護学校の友達との 触れ合い方 | ○望ましい授業態度や自分に合った学習計画を立てさせる。 ○自分をみつめ、人との関わりを大切にすることを育てる。 |
| 6 | ●さわやかセミナー (進学指導) ○個人懇談 | ○面接を受ける時のマナー ○生活や学習の見直し | ○人として大切なあいさつ、言葉使いを意識させる。 ○自分の生活や学習を振り返り、よりよくしていこうとする意欲を持たせる。 |
| 7 | ○1学期の反省 | ○初めての夏休みの有意義な過ごし方 | ○自分の課題点を自覚し夏休みを有意義なものにしようとする意欲を持たせる。 |
| 8 | △町福祉体験 (ボランティア活動) | ○地域の方々との触れ合い方 | ○多くの人たちとの関わりを通して、挨拶やマナーの大切さに気づかせる。 |
| 10 | ○私の夢と進路 | ○将来の希望と心構え | ○将来の自己像について考えさせる。 |
| 11 | ○個人懇談 | ○生活や学習の見直し | ○自分の生活や学習を振り返り、よりよくしていこうとする意欲を持たせる。 |
| | ○2学期の反省 | ○初めての冬休みの有意義な過ごし方 | ○2学期を振り返り、冬休みの有意義な過ごし方について考えさせる。 |
| 1 | ○私の個性と進路 | ○自己理解 | ○自己理解を深めさせ、自己の特性を生かすことのできる職業について考えさせる。 |
| 2 | ○職業と資格 | ○社会人に学ぶ(進路参観日) ○いろいろな職業調べ | ○地域の人たちの話や、インターネット、書物による調査を通して、職種や資格について理解させる。 |
| 3 | ○1年間の反省 ○個人懇談 | ○自分の成長と課題点の確認 | ○1年間を振り返り、自分の成長点や課題を確かめ2年生への意欲を持たせる。 |

*●さわやかセミナーは全校体制で実施する

平成23年度 第2学年キャリア教育計画 (案)

●進路指導目標

- (1) 生徒一人ひとりの個性の伸長を図り、将来に対する夢や希望を持ち、目標に向かって努力する生徒を育成する。
- (2) 成就感、達成感を味わわせ学校生活への意欲の向上を図り、自らが進路選択できる力を養う。

●第2学年別指導目標

自己理解をいっそう深め、上級学校や職業について体験を通して理解を図りながら、進路希望を実現しようとする態度を養う。

●第2学年進路指導年間計画

| 月 | 題材 | 指導内容 | 指導のねらい |
|----|---|--|---|
| 4 | ○2年生としての決意 | ○2年生としての自覚 | ○再度将来の自分を考えさせ、何をすべきか考えさせ新しい生活を意欲的にスタートさせる。 |
| 5 | ○学習方法の見直し | ○望ましい学習態度の再検討 | ○中学校生活の折り返し点であることを意識させ、これまでの自分の学習を見直して、より効果的な学習方法を考えさせる。 |
| 6 | ●さわやかセミナー (進学指導) ○個人懇談 ○職場体験学習に向けて | ○質問への答え方 ○生活や学習の見直し ○職場体験学習の心構え | ○面接練習を通して正しい言葉使いや応答の仕方を理解し、日常生活に役立てようとする意欲を養う ○自分の生活や学習を振り返り、よりよくしていこうとする意欲を持たせる ○体験学習の意義を理解し、職場でのマナーを徹底する。 |
| 7 | ○職場体験学習 (わくわく北条) ○職場体験学習を終えて ○1学期の反省 | ○働くことの困難と喜び ○地域の方々への感謝 ○充実した夏休みの過ごし方 | ○職場体験学習を通して、働くことの意義を理解させるとともに、体験にもとづく望ましい勤労観を養う ○多くの人たちに支えられて体験できたことに感謝の気持ちを持たせる ○1学期を振り返り、夏休みにすべきことを考えさせる |
| 8 | △町福祉体験 (ボランティア活動) | ○地域の方々の働く姿 | ○多くの人たちとの関わりを通して、他者を認めることの大切さに気づかせる |
| 9 | | | |
| 10 | | | |
| 12 | ○2学期の反省 | ○充実した冬休みの過ごし方 | ○2学期を振り返り、冬休みにすべきことを考えさせる |
| 1 | | | |
| 2 | ○「輝け!夢」学習 ○卒業生の進学先 | ○高校調べ ○卒業生に学ぶ | ○身近にある高等学校等について、その学科の特色や校風について、パンフレットや卒業生の話からの情報によって理解させる |
| 3 | ○私の抱負と進路 (進路希望調査) ○個人懇談 | ○自分の成長と3年生へ向けての課題 点の確認 | ○周囲の人たちとの対話を促しながら、進学や就職を含めて、大まかな目標を設定し、最終学年への意欲を養う |

*●さわやかセミナーは全校体制で実施する

平成23年度 第3学年キャリア教育計画(案)

●進路指導目標

- (1) 生徒一人ひとりの個性の伸長を図り、将来に対する夢や希望を持ち、目標に向かって努力する生徒を育成する。
- (2) 成就感、達成感を味わわせ学校生活への意欲の向上を図り、自らが進路選択できる力を養う。

●第3学年別指導目標

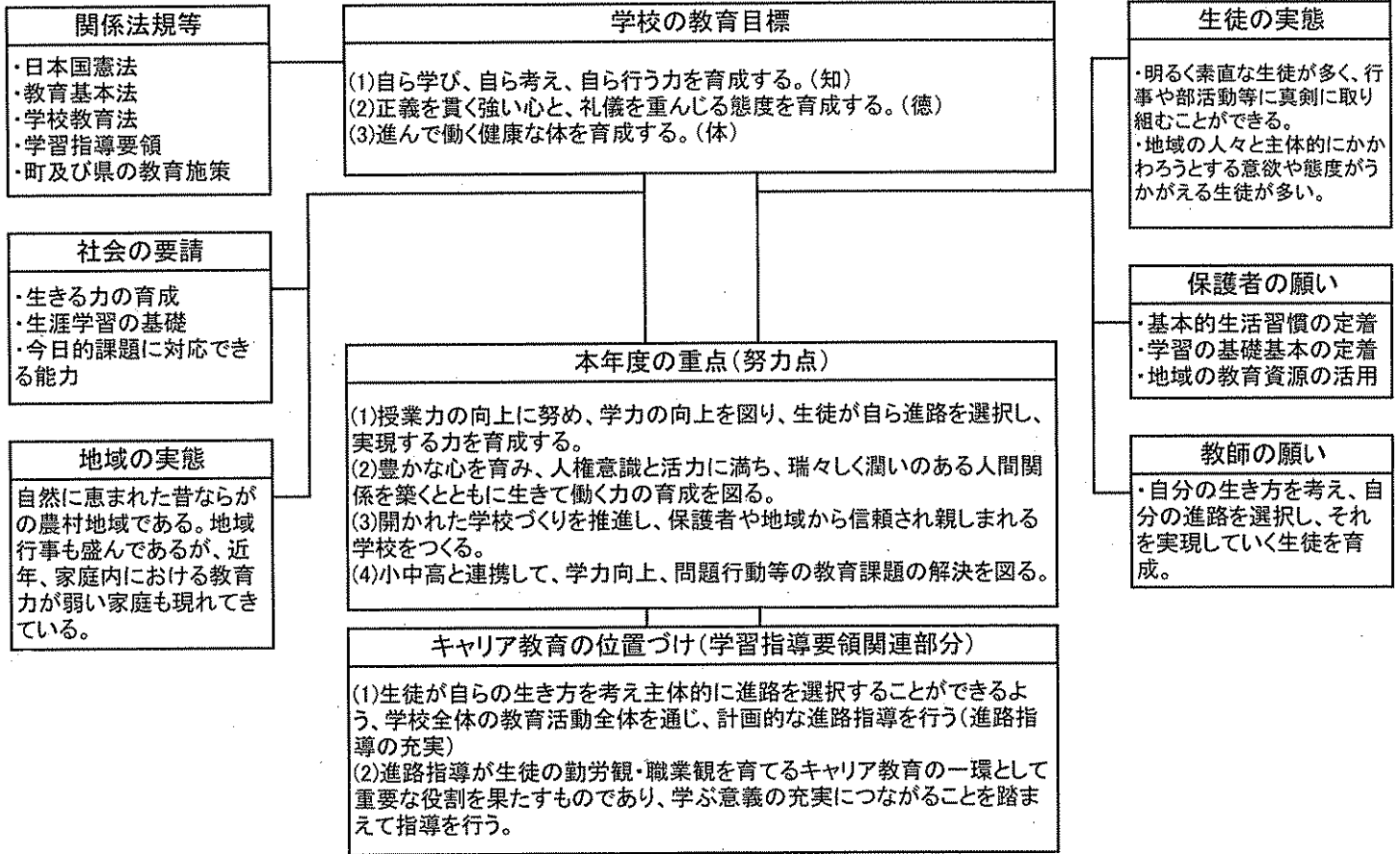
自己の特性を見つめさせ、また希望する進路の情報を確かめて、自分にふさわしい職業や学校を選択するとともに、その進路に向かって自分を向上させようとする態度や心情を養う。

●第3学年進路指導年

| 月 | 題材 | 指導内容 | 指導のねらい |
|----|--|---|--|
| 4 | ○最上級生の自覚 | ○進路決定までのガイダンス | ○3年生としての自覚を持たせ、進路決定までの大まかな流れを理解させる。 |
| 5 | ○私の学習方法・計画 ○修学旅行1日企業訪問 | ○年間の学習計画の作成 ○さまざまな企業、施設の実態 | ○苦手教科の克服を含めて、これまでの学習方法を見直し、年間を通した学習計画を立てさせる。 |
| 6 | ○親子進路説明会 ●さわやかセミナー (進学指導) | ○高等学校側からの特色説明 | ○高等学校の担当者から実際に説明を受けることで、修得が可能な技能やその先の進路先まで詳しく理解させる。 |
| 7 | ○進路希望調査 ○最終学年の夏休み | ○進路希望調査 ○進路選択を前にした夏休みの意義 | ○進路希望調査を記入することでそれまでの進路学習を振り返り、自己を見つめなおす。 |
| 8 | △町福祉体験 (ボランティア活動) ○高等学校体験入学 | ○地域の方々の働く姿 | ○多くの人たちとの関わりを通して自分を見つめ、将来の自分像について考えさせる。 |
| 9 | ○高等学校体験入学から | ○体験入学の情報交換 ○高等学校の特色 | ○実際の体験を通して得た高等学校の雰囲気や特色について情報交換させる。 |
| 10 | | | |
| 11 | ○進路説明会 | ○進路決定の方法と準備 | ○進路決定に向けての心構えを持たせるとともに、高等学校の特色について知らせる。 |
| 12 | ○進路希望調査 (進路3者懇談) | ○進路希望調査 | ○周りの人の声にも耳を傾けながら、改めて自己を見つめ、調査用紙に記入させる。 |
| 1 | ○私の進路決定 (進路3者懇談) ○試験の手続き ○さわやかセミナー① | ○進路決定 ○高等学校入試・就職試験について のあらまし ○自分の考えを堂々と伝える | ○自分が行った進路決定の理由を明確にし、決意を固める。 ○高等学校入試・就職試験前後の手続きなどを含めて、そのあらましを理解させる。 ○聞かれたことに対する適切な答え方を意識させる。(面接練習1) |
| 2 | ○試験の心構え ○さわやかセミナー② | ○高等学校入試・就職試験の心構え と準備 ○自分の考えを堂々と伝える | ○高等学校入試・就職試験の当日までの心構えについて考えさせ、最終的な準備について確認させる。 ○聞かれたことに対する適切な答え方を意識させる。(面接練習2) |
| 3 | ○進路公開 | ○自分が選んだ進路について学級 で発表する | ○自分が選んだ進路について語りあうことで自信と希望を持って進路実現に向かわせる。 |

*●さわやかセミナーは全校体制で実施する

平成23年度キャリア教育全体計画(北栄町立大栄中学校)



身に付けたい力

- ◎主体的に課題を見つけ、問題解決できる力
- ◎自分を見つめ進路を切り拓く力
- ◎自分の意見や考えを表現する力

| | 1年 | 2年 | 3年 |
|----|---|--|---|
| 目標 | ・夢と希望を持って充実した中学校生活を送れるようにする。 ・進路学習・自己理解への関心を高め、進んで自己の進路を計画しようとする態度を養う。 | ・働くことと学ぶことの意義と目的を理解する。 ・職業や上級学校の情報をもとに、自分の適性をふまえた進路計画を立てることができるようにする。 | ・自分の特性や希望する進路の情報を確認し、進路選択や決定が具体的にできるようにする。 ・進路に向かって、自らの将来を切り拓こうとする態度を養う。 |
| 内容 | 社会人に学ぶ | ワクワク大栄 上級学校調べ | 修学旅行企業訪問 |

| 領域 | 教科 | 道徳 | 特別活動 | 総合的な学習 |
|--------|--|---|--|---|
| 人間形成能力 | 自分良さや個性が分かり、他者の良さや感情を理解し尊重する。 | 人間関係の大切さや生きる上で働くことの意味を理解する。 | 他者に配慮しながら、積極的に人間関係を築こうとする。コミュニケーションスキルを習得する。 | リーダーとフォロワーの立場を理解し、チームを組んで多大に支え合いながら仕事をやる。 |
| 情報活用能力 | 生き方や進路に関する情報を、さまざまなメディアを通じて、調査・収集・整理し尊重する。 | 将来の職業生活との関連の中で、今の学習の必要性や大切さを理解する。 | 体験等を通して、勤労の意義や働く人々の様々な思いが分かる。 | 上級学校・学科等の種類や特徴及び職業に求められる資格や学習暦の概略が分かる。 |
| 将来設計能力 | 将来の進路希望に基づいて当面の計画を立て、その達成に向けて努力する。 | 将来の夢や職業を思い描き、自分にふさわしい職業や仕事への関心・意欲を高める。 | 自己の役割やその進め方、よりよい集団活動のための役割分担やその方法等が分かる。 | 進路計画を立てる意義や方法を理解し、自分のめざすべき将来を暫定的に計画する。 |
| 意思決定能力 | 課題に積極的に取り組み、主体的に解決していこうとする。 | よりよい生活や学習、進路や生き方等を目指して自ら課題を見出し、していくことの大切さを理解する。 | 自己の個性や興味・関心等に基づいて、よりよい選択をしようとする。 | 選択の意味や判断・決定の過程、結果には責任が伴うことなどを理解する。 |